令和８年刊行

消　防　年　報

鶴岡市消防本部

ま　え　が　き

1　この消防年報は、鶴岡市消防本部の消防現勢及び令和７年中における活動概要等を収録したものです。

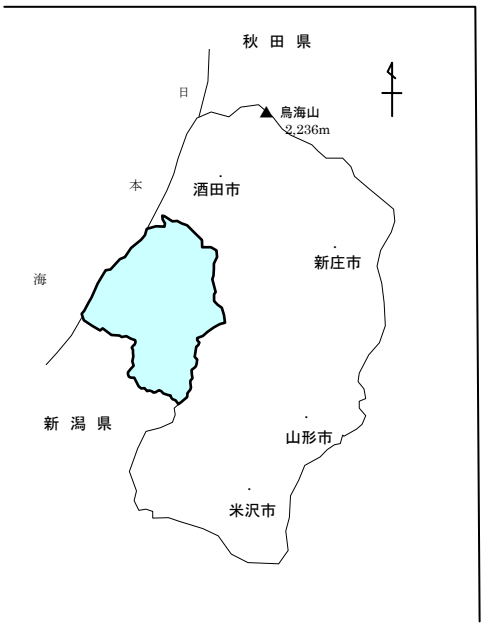
　消防業務の実態を広く紹介し、ご理解とご支援をいただき、今後の消防行政の運営と消防力の充実に資するものであります。

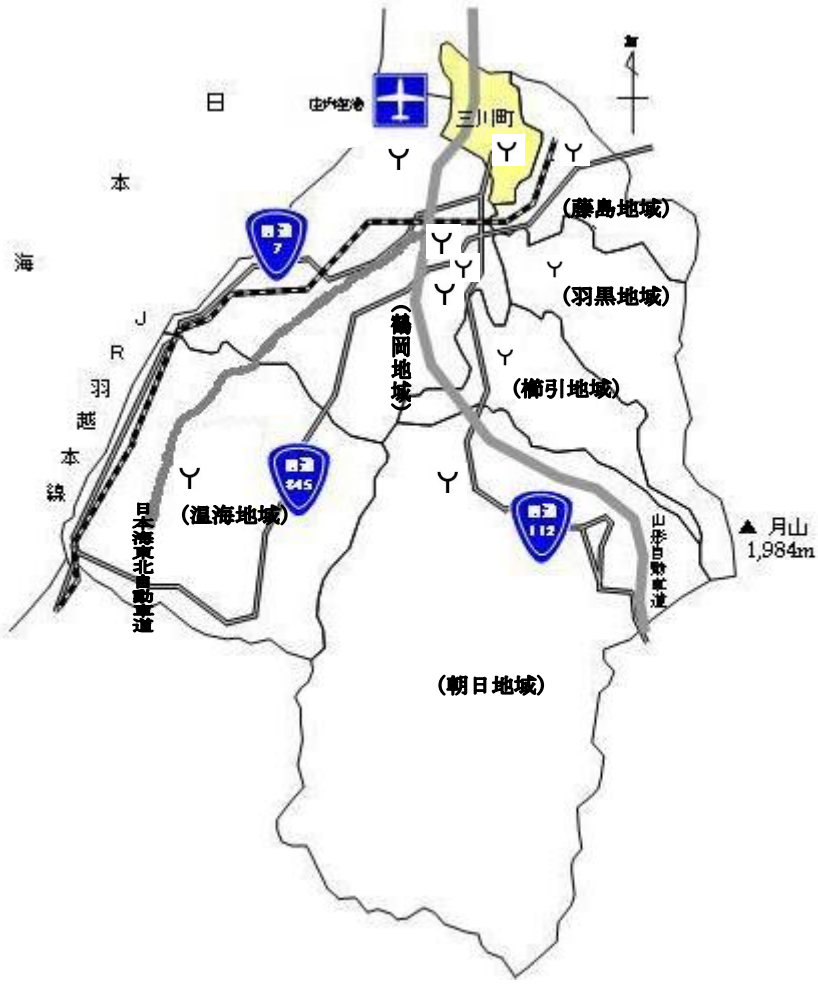
2　火災・救急・救助及び通信統計については暦年、また予防統計・予算等に関するものについては、年度により作成しております。

― 管 内 の 位 置 ―

　当消防本部は、米どころ山形県庄内平野の南部に位置し、東に霊峰月山・羽黒山・湯殿山などの美しい山々が連なり、西は岩礁と長い砂丘で日本海に面し、南は新潟県村上市、北は港都酒田市と接しています。

　鶴岡市は大自然に囲まれながら災害は少なく、管内総面積（消防事務を受託している三川町含む）は1,344.7ｋ㎡ で、江戸時代は徳川四天王といわれた酒井氏の統治のもと、庄内最大の城下町として発展してきました。





目　　次

ま　え　が　き

令和８年度 鶴岡市消防本部事業概要

１　消防本部の使命 1

２　消防本部の目標と運営方針 1
（１）目標 1
（２）運営方針 2

３　重点取組項目 2
（１）総務関係 2
（２）予防関係 4
（３）警防関係 5
（４）消防署関係 6
（５）通信指令関係 7

管　内　情　勢　編

沿革 9

消防庁舎の現況 15

管内情勢 16

月別気象情報 16

協定書及び覚書締結状況 17

総　　務　　編

組　　織 18

歴代消防長・消防次長・消防署長 19
１　歴代消防長 19
２　歴代消防次長 19
３　歴代消防署長 19

令和８年度 当初予算 20
１　年度当初予算の比較 20
２　過去５年間の歳出決算額（一般会計との比較） 20

職員採用状況 21

令和８年度 消防学校等入校計画 22
１　山形県消防学校 22
２　救急救命士養成 22
３　消防大学校 22

消防職員配置状況 23

年齢別消防職員数 23

在職年数別消防職員数 24
消防職員数の推移 24
各種免許・特殊技能等資格取得状況 25
音楽隊編成表 25
消防救助技術大会出場記録 26

予　防　編

防火活動状況 27
1　防火研修会及び消防訓練実施状況 27
2　幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ組織状況 28
防火管理 29
防火管理者を定めなければならない防火対象物及び選任対象物 29
査　察 30
1　査察対象事業所等状況 30
2　防火対象物定期点検報告制度対象物数 31
3　防災管理点検報告制度対象物数 31
4　防火対象物の現況と査察実施状況 32
5　建築確認同意事務処理状況 33
危険物規制 34
1　危険物施設現況数 34
2　危険物施設の許認可等状況 34
3　年度別危険物施設数 35
4　危険物施設立入検査実施状況 35
火災統計 36
1　火災の概況 36
2　市町及び地域別火災発生状況 37
3　月別火災発生状況 39
4　原因別出火件数 41
5　時間帯別出火件数 41
6　曜日別出火件数 41
7　初期消火器具等の使用状況 41
8　建物火災の用途別発生状況 42
9　住宅火災の出火箇所別発生状況 42
10　住宅火災の原因別発生状況 43
11　住宅火災の曜日別発生状況 43
12　住宅火災における初期消火器具等の使用状況 44
13　総出火件数等 44
14　住宅火災の推移 44

警　防　編

主な消防機器の現況 45
消防車両等配備状況 46

通信指令業務 48
1　通信系統図 48
2　高機能消防指令センター　システム図 49
１１９番受信状況 50
1　月別受信状況 50
2　曜日別受信状況 50
一般加入電話受信状況 51
1　月別受信状況 51
2　曜日別受信状況 51
消防水利の現況 52
中高層建築物の現況 53
1　市町及び地域別状況 53
2　用途別状況 54
救急統計 55
1　救急活動状況 55
2　月別事故種別出動件数と搬送人員 57
3　医療機関別搬送人員の状況 57
4　事故種別出動状況 57
5　年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況 58
6　曜日別時間帯別搬送人員状況 58
7　現場到着所要時間状況(入電～現場到着まで) 59
8　収容所要時間状況(入電～医療機関まで) 59
9　住所別搬送人員状況 59
10　救急隊員の行った応急処置の状況 60
11　過去５ヶ年の事故種別出動･搬送人員の状況 61
12　職員が行った応急手当普及啓発活動の状況 62
救助統計 63
1　市町別救助件数･救助人員 63
2　出動隊別事故種別出動状況及び救助人員 64
3　発生場所別事故種別救助人員 64

消　防　団　編

消防団の構成 65
消防団長･副団長名 65
階級別消防団員数 66
在職年数別消防団員数 66
年齢別消防団員数 67
消防団機械等現勢 67
階級別消防団員報酬 68
出動手当額 68

令和８年度 鶴岡市消防本部事業概要

１ 消防本部の使命

『安全・安心を誇れる街 鶴岡を目指して』

消防本部（１本部１署９分署、定数２１４名（R8.4.1改定）の職員）は、火災、救急、救助をはじめ、あらゆる災害時における市民の緊急事態に、消防ポンプ自動車、救急自動車等の消防施設及び人員を活用し、日ごろの訓練で培った技術、経験を最大限に発揮するとともに、地域防災力の要である鶴岡市消防団等との連携強化を図りながら、地域と住民の安全・安心を確保します。

２ 消防本部の目標と運営方針

目 標

市民生活の安全・安心を確保することは、まちづくりの基本であるという認識のもとに消防・救急体制の充実・強化を図り、次の目標を掲げて「安全・安心を誇れる街鶴岡」を創造します。

（１）災害の低減

市民の生命、身体、財産を災害から守るために、各種施策を展開することはもとより、市民とより強固な信頼関係を築き、役割分担を明確にした上で、市民の防火防災活動を促進し、これを積極的に支援します。

また、消防団の地域に根ざした各種活動との連携を図り、災害の低減を目指します。

（２）的確な災害対応

災害発生時においては、迅速・確実に対応することによって被害を最小限に抑えるとともに、本市又は他市町村において大規模な災害が発生した場合の広域的な災害対応に備え、緊急消防援助隊登録機関としての役割を認識し、各地域や関係機関・団体との連携を強化するなど、効果的な施策を展開します。

鶴岡市消防本部　マスコットキャラクター　てんじんくん



救急隊



消防隊



救助隊

２０２６年度全国統一防火標語　「火の確認　いい日を支える　いい習慣」

運営方針

消防本部の使命と目標を達成するため、消防本部運営方針を次の５項目とします。

（１）消防力の維持・強化

消防装備の充実、消防庁舎などの計画的な整備を進め、消防の広域連携・協力体制を維持するとともに、地域の実情に即した組織体制を検討します。また、高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線設備の適切な維持管理を図ります。

職員の体調管理を徹底し、消防機能が低下することがないよう全力を尽くします。

（２）防火対策の推進

住宅火災における出火件数の低減と逃げ遅れゼロを図るため、啓発活動を強化します。また、建物利用者の安全を確保するため、消防法令違反対象物の是正対策を徹底します。

（３）救急救命体制の整備・充実

救急患者の救命率向上を図るため、救急救命士の計画的な養成を進めます。また、救急隊が到着するまでの間、市民から応急手当を実施していただけるようにするため、応急手当普及啓発活動の充実を図ります。

（４）消防団組織の充実・強化

社会構造や就業形態の変化により消防団員が減少する中で、地域の消防力が低下しないよう効果的な消防団の体制づくりを進めることで、団員の確保と、災害対応能力の向上を図ります。

また、非常備消防車両や施設の整備を計画的に進め、消防力の確保を図ります。

（５）市民志向・現場重視の施策推進

複雑多様・大規模化する災害への対応を強化するためには、市民の理解と協力が不可欠です。このため、消防行政に関する情報を発信し、情報共有を促進します。市民と協力して自助・共助・公助の原則に基づくまちづくり・コミュニティづくりを推進し、市民一人ひとりの安全と安心の確保に努めます。災害時の要配慮者や幼少年齢者を対象とした各施策についても、関係部局や市民との連携で確実に進めるとともに、各種広報業務を通じて情報を共有します。

３ 重点取組項目

【総務関係】

（１）消防力の維持・強化及び消防機能の整備・充実

消防救急車両や資機材などについては、消防力の低下を招かないよう時代にあった検討を行うとともに、署所や人員、消防車両等の機能的配置など、引き続き消防機能の整備・充実を図る。併せて、将来にわたって持続可能な消防体制の在り方を検討する。

① 消防職員定数２１４名を効果的に配置し、消防力の強化を図る。
② 地域の実情に即した消防体制の更なる充実強化を図るため、指揮車、梯子車等を更新整備する。
③ 安全な消防活動に不可欠である防火衣をはじめとする被服貸与の充実を図るとともに、資格・免許取得に対する支援制度を有効活用し、消防力の充実・強化を図る。
④ 人口減少社会において地域の消防力を維持するため、中長期的な本市消防体制の在り方について検討を進める。

（２）消防業務の高度化等に対応する人材育成

複雑・多様化する災害に的確に対応し、将来にわたって持続可能な消防体制を整備・確立するため、消防本部及び消防署（分署）の果たす役割と階級・職種別等に応じたより高度で専門的な知識・技術を習得する専科教育を実施する。

① 隊長等の職務能力の向上を図る幹部教育、また需要が多く高度化する救命処置に対応するための救急教育などの充実を図る。
② 人材育成を継続しながら、適材適所を念頭に職員配置する。
③ 他事務部局との連携を一層強化するとともに、消防職員の能力向上を図るため、市及び県の関係部局へ職員派遣を継続して行う。
④ 免許等取得助成金を有効に活用し、消防業務を円滑に遂行するとともに、職員の人材育成を図る。

（３）明るく良好な職場環境の創出

業務運営において職員が能力を十分に発揮するため、職員同士が互いを尊重し合い、円滑な人間関係を築きながら、明るく良好な職場環境を創出する。

① 「鶴岡市職員のハラスメント防止ガイドライン」及び、消防長の「ハラスメント防止宣言」の発出のほか、消防独自の研修会を実施し、ハラスメントの理解を深め未然防止に努める。
② 育児休業等の取得促進を推進し、働きやすい職場を構築する。
③ 消防職員が悲惨な現場で活動した後に起こすストレス反応（惨事ストレス）を軽減させるため、「鶴岡市消防惨事ストレスケア実施要綱」に基づき対応するとともに、メンタルヘルス（心の健康）自己申告制度等を有効活用し、悩みの早期の気づきを目指す。
④ 産業医巡回、管理職及び衛生管理者の職場巡視を積極的に実施し、職員との意思疎通を図り、職場環境、事務能率の向上改善に努める。
⑤ 職員の不祥事の未然防止（抑止）を図るため、倫理規範推進委員会を有効に活用し、積極的な施策取り組みによる「信頼される消防職員づくり」を展開する。
⑥ 関連研修へ職員を派遣し、伝達研修や意見交換などを通し、職員一体の取り組みとして各々の意識の醸成を図る。
⑦ 被服貸与基準の見直し、免許資格取得への助成、及び緊急消防援助隊等として出動した際の特殊勤務手当を活用し、消防職員の処遇改善を図る。

【予防関係】

（１）火災予防に係る啓発活動の充実

出火件数の減少と火災による死傷者の撲滅を図るため、効果的な啓発活動を展開する。また、関係団体と連携を図りながら、地域に防火思想を浸透させる。

① 出火及び延焼拡大の防止対策について、周知を図るため、消防車両や防災行政無線による日常的な防火広報を実施する。また、火災多発時には、発生要因を掲載した防火チラシを配布するほか、ホームページや各種ＳＮＳを活用し、関係機関と連携しながら啓発の強化を図る。

② 市民一人ひとりが災害への対応力を身につけていただくため、町内会、自主防災組織、事業所等と連携を図り、地域の実情に合わせた防火訓練や研修を実施する。また、有事の際に自ら考えて行動できるよう、幼・少年期からの防火教育を推進する。

③ 春季・秋季火災予防運動期間の行事について、危険物安全協会、防火管理連絡協議会、少年女性防火委員会、消防協会、消防団等の関係団体と連携し、住民と対面する場を増やした防火指導を実施する。

④ デジタルサイネージ（電子表示看板）による映像を活用した臨場感のある啓発活動を展開し、防火の必要性について再認識していただくよう呼び掛ける。

⑤ 火災の予防上注意を要する気象状況になった際には、火災警報等を円滑に発令し、的確に市民等へ火の使用制限等について周知を図る。

（２）住宅防火対策の推進

住宅火災による被害を低減させるため、早期の発見及び迅速な初期消火ができるよう、防災機器の設置・維持管理や防火対策の指導を推進する。

① 火災発生を早期に覚知するため、消防関係法令に基づいた住宅用火災警報器の設置を指導する。また、「住宅用火災警報器 点検の日」を中心とし、作動点検による適正な維持管理と経年劣化した機器の交換を推奨する。

② 出火及び延焼拡大を防止するため、安全装置が設置されている暖房器具や調理器具の設置、感震ブレーカーの普及を促進する。

③ 高齢化社会が進展していることから、高齢者世帯に対する防火訪問を継続し、火気取り扱いの注意事項等について周知の拡大を図る。

（３）事業所等における防火安全対策の推進

消防法令違反に対する是正指導を強化することで、不特定多数の利用者に対する安全を確保する。

① 消防法令違反を認めた事業所について、追跡調査を強化し早期の是正に努める。特に、重大な消防法令違反がある事業所には「違反公表制度」を適用し、違反状況を公表する。また、改修が遅れている場合は警告・命令を適用し、厳正に対処する。

② 危険物施設内における事故の未然防止や被害の拡大を防止するため、予防規程に沿った適正な点検要領や保安対策を指導する。

（４）火災調査員のレベルアップ

火災の様態は複雑かつ多様化し、火災調査の資質の向上を図る必要があることから、火災の発生メカニズムに関する職員研修を実施する。また、予防課員と各課・各分署員の合同による現場調査体制を強化し、経験を積み重ねることでレベルアップを図る。

（５）火災予防分野における電子申請の利用の推進

総務省の自治体におけるＤＸ推進に伴う「火災予防分野における電子申請」については、ホームページへの公開や広報チラシの配布による周知活動を強化し、市民等の利便性向上と更なる普及を図る。また、建築確認申請及び審査の手続きに係る「消防同意事務」について、令和８年４月から電子化されることから、担当職員の研修や事務処理環境の整備を図り、円滑な運用に繋げる。

【警防関係】

（１）消防力の充実強化

複雑・多様化する災害に迅速かつ的確に対応するため、消防装備の計画的な整備を進めるとともに、関係機関との連携強化を図る。

① 消防活動の機動力を確保するため、消防車両及び資機材の整備・更新を計画的に進める。

② 災害時の消防活動が迅速・的確・円滑に行われるよう関係機関とのより実践に即した合同訓練等を計画的に実施し連携強化を図る。

③ 緊急消防援助隊に１２隊４７名を登録し、山形県の代表消防機関代行として県内消防本部と連携を図るとともに、毎年開催される緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練に参加して、実践的な活動等の連携強化を図る。また、「鶴岡市消防本部受援計画」に基づいた訓練等を実施し、警防本部の初動体制と受援体制の強化を図る。

（２）救急救命体制の整備

高齢化・多様化する救急需要に対応するため、救急救命士の計画的な養成と救急車両・資機材の更新を進め、救急活動の質の向上を図る。また、救急隊が到着するまでの間、市民から応急手当を実施していただけるようにするため、応急手当の普及啓発活動の充実を図る。

① 救急救命士を計画的に養成し救急業務の高度化を図るとともに、指導救命士を中心とした教育体制による救急隊員の知識、技術の向上と現場対応力の強化を図る。

② 応急手当の普及啓発として、より多くの市民が受講しやすい応急手当講習会を開催するために、e-ラーニングの併用や関係機関、応急手当普及員と連携した啓発活動を展開して、市民による応急手当実施率の向上を図り、救命率向上に繋げる。

③ 高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材の整備として、老朽化した車両及び資機材を更新し、救急現場での迅速・的確な救命処置を実施することで、救急活動の質の向上を図る。

④　医療機関や保健所、健康福祉部局と連携し、高齢化・多様化する救急事案において、市民ファーストを考慮した活動体制の強化を図る。また、庄内メディカルコントロール協議会を通して、医療機関等の会議に参画することにより、地域救急需要に係る情報共有と連携強化を図り、円滑な救急活動に繋げる。

⑤　「マイナンバーカードを活用した救急活動」を本格的に運用開始し、救急業務の円滑化を図る。

（３）消防団の組織体制の強化

地域の消防力が低下しないよう効果的な消防団の体制づくりを進めるとともに団員の確保と災害対応能力の向上を図る。

①　組織検討委員会で策定した「班の統合計画」を継ぐ班統合の検討と併せ資機材の整備を進めるとともに、地域と連携を図りながら班の母体となる「部・分団の統合」等の検討を進め、消防力・機動力の維持強化を図る。

②　耐震性貯水槽の整備を計画的に進めるとともに、老朽化した無蓋貯水槽やポンプ庫の撤去を含めた設備を検討する。

③　地域の実情に即した災害現場で役立つ実践的な訓練を推進するとともに、各種行事や研修会等の内容を検討し、団員がやりがいを持ち活動しやすい環境の整備と団員の負担軽減を図る。

④　ＳＮＳ等を活用し消防団の活動状況と必要性を市民に広報するとともに、地域防災訓練等への参加により、住民とのつながりと理解を深め、団員の確保と入団促進を図り、地域消防力の維持強化を推進する。

⑤　消防団員の約８割が被用者であり、消防団活動には事業所等の消防団への理解と協力が不可欠であることから、積極的に鶴岡市消防団協力事業所表示制度の周知・加入を促進し、団員が入団しやすく、かつ活動しやすい環境整備を図る。

⑥　団員の消防団公式LINEアプリ利用者の裾野を広げ、消防団員及び消防職員の事務負担軽減を図る。また、団員に役立つ情報の提供や災害時における情報共有体制の強化を図り、災害による被害の軽減に繋げる。

【消防署関係】

（１）市民の安全・安心を守る消防活動体制の充実強化

複雑多様化する各種災害に的確に対応するため、各所属において毎日訓練を継続して実施し、隊の連携を醸成するとともに消防活動体制の充実強化を図る。

①　警防活動体制の充実強化

・火災の特性を踏まえた現場指揮能力の向上と安全管理体制確立のため、指揮隊運用研修や全署で取り組む火災防ぎょ訓練を実施し、消防活動体制の強化を図る。

・消防活動マニュアルに基づく訓練及び研修を実施し、各隊の活動要領の統一化とともに災害対応力の強化を図る。

・全国的に発生している地震や土砂災害等、特殊災害の情報を職員間で共有を図り、地域特性を考慮した警防計画を随時更新する。また、警防計画に基づく研修や訓練を実施し、特殊災害等発生時の被害軽減を図る。

② 救助活動体制の充実強化

・救助資器材を活用した訓練を継続的に実施するとともに、大規模災害発生時における専門的かつ新たな知識と高度な技術を醸成し、隊員の育成を図る。

・発生時のスムーズな救助活動のため警察、防災航空隊、海上保安庁等の関係機関と合同訓練を実施し連携強化を図る。

・救助技術訓練を実施し、救助技術の向上と救助隊長の育成により隊員間の連携力を向上させ、現場対応能力の強化を図る。

③ 救急活動体制の充実強化

・救急活動マニュアルに基づく訓練を実施し、救急隊員の資質と対応力向上を図る。

・救命率向上のため、対象に合わせた応急手当等の救急講習を定期的に開催するとともに、ＳＮＳ等を活用し応急手当普及啓発と救急車の適時・適切な利用の啓発を積極的に行う。

・円滑な救急活動を実施するため、警防課と連携し、医療機関及び福祉部局等との検討会や情報交換会を定期的に開催し連携強化を図る。

④ 大規模災害活動体制及び非常体制の充実強化

・山形県外の大規模災害発生時には、緊急消防援助隊における山形県の代表代行消防機関として出動することから、迅速即応な緊急消防援助隊出動体制の強化を図る。また、緊急消防援助隊全国合同訓練及び山形県総合防災訓練への参加により、現場指揮及び部隊活動能力の強化を図る。

・大規模災害発生時における対応能力の強化と現場機能の継続性確保のため、「鶴岡市消防警防規程」や「鶴岡市消防本部受援計画」等の大規模災害に関連する要綱等に基づく研修及び大規模災害対応訓練を実施し、現場活動体制と受援体制の充実強化を図る。

（２）社会情勢等の変化に対応した火災予防対策の推進

住宅及び事業所からの出火防止と発災時の被害軽減のため、火災予防体制の充実強化を図る。

① 火災予防査察の実施により、各事業所における防火管理体制の確立を指導するとともに、重大な消防法令違反対象物には予防課と連携し、早期是正を推進する。

② 各自治会等においての防災訓練を通して広く市民に働きかけ、住宅における防火・防災対策意識の高揚を図る。

【通信指令関係】

（１）消防通信指令設備の充実強化

消防通信機能の中枢である通信指令設備を効果的に運用するため、設備の更新を計画的に進め、適切な維持管理を図る。

① 令和 10、11 年度に予定する消防救急デジタル無線設備の全面更新に向け、基本方針を定め事業を推進する。

② 高機能消防指令センターと消防救急デジタル無線等の通信指令設備について、管理監視体制を徹底し適切に維持管理する。

（２）適切な１１９番通報受理体制の確立

災害発生場所の早期特定と出動の迅速化及び現場被害軽減のため、市民の 119 番通報に対する理解を深めていただくとともに、口頭指導体制の充実化を図る。

① 多様な手段で正しい１１９番通報要領の周知を継続的に行う。

② 救急通報における対応研修を実施し、聴取要領のスキルアップを図る。

③ 新たに導入した映像通報装置（映像通報119）を積極的に活用し、的確な口頭指導により初動対応の強化を図る。

（３）大規模・特殊災害発生時における通信初動体制の強化

災害発生時における円滑な情報伝達と効果的な現場活動の支援体制を確立する。

① 映像共有システムや各種情報端末を活用し効果的な情報収集と情報伝達を図る。

② 通信プロトコルや各種災害マニュアル等を活用した対応要領を研修し、災害初動時の対応力向上を図る。

管内情勢編


本部庁舎上空からの写真

沿革

昭和 48 年 4 月 1 日 鶴岡地区消防事務組合発足、1 市 5 町 1 村の広域消防体制成る
鶴岡市からの出向者 87 名、事務組合採用者 30 名、総員 117 名
昭和 49 年 3 月 28 日 温海、朝日分署新庁舎落成開署（温海分署には救急自動車配備）
温海分署 16 名、朝日分署 12 名
4 月 1 日 27 名増員、総員 144 名
10 月 1 日 藤島、羽黒分署新庁舎落成開署　藤島分署 12 名、羽黒分署 12 名
10 月 31 日 消防本部・消防署新庁舎落成
昭和 50 年 2 月 17 日 日本損害保険協会から救急自動車の寄贈を受け、駅前分署に配備
4 月 1 日 24 名増員、総員 168 名
10 月 1 日 三川、櫛引分署落成開署　三川分署 12 名、櫛引分署 12 名
12 月 9 日 山形県農業共済組合連合会から救急自動車 3B 型の寄贈を受け、消防署に配備
昭和 52 年 4 月 1 日 8 名増員、総員 176 名
9 月 27 日 日本船舶振興会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、朝日分署に配備
昭和 53 年 3 月 10 日 山形県広域消防相互応援協定の締結
4 月 1 日 6 名増員、総員 182 名
5 月 1 日 救助隊発足
11 月 14 日 自治体消防 30 周年記念式典を文化会館で挙行
11 月 27 日 山形県農業共済組合連合会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、温海分署に配備
昭和 54 年 4 月 1 日 7 名増員、総員 189 名
昭和 55 年 2 月 21 日 高層建物火災に備え 32m 級はしご車を購入、消防署に配備
4 月 1 日 1 名増員、総員 190 名
8 月 28 日 日本損害保険協会から消防ポンプ自動車 BD－Ⅰ型の寄贈を受け、湯野浜分署に配備
12 月 4 日 指令車（ニッサングロリア E403 型）を購入、本部に配備
昭和 56 年 7 月 10 日 望楼解体撤去に伴い、庁舎屋上に無線設備（パンザマスト）を新設
8 月 5 日 昭和 31 年鶴岡市消防時代に建設された望楼が老朽により解体撤去
昭和 57 年 3 月 1 日 水槽付消防ポンプ自動車ⅠB 型を購入（更新）消防署に配備
4 月 1 日 職員の健康管理の充実を図るため、産業医を委嘱し衛生委員会を設置
6 月 28 日 山形県防災行政無線局が消防本部通信指令室に設置開局され、災害時における緊急連絡及び情報収集体制が整備される。
8 月 24 日 日本消防協会から救急自動車 2B 型及び緊急吸水濾過器 1 基の寄贈を受け、消防署に配備
昭和 58 年 12 月 26 日 空気呼吸器ボンベの充填機を購入

昭和 59 年 1 月 20 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）大山分署に配備
3 月 8 日 日本損害保険協会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、駅前分署に配備
11 月 26 日 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型購入（更新）消防署に配備
昭和 60 年 1 月 31 日 広報車を購入（更新）
11 月 18 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）消防署に配備
12 月 5 日 日本自動車工業会から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、温海分署に配備
昭和 62 年 3 月 30 日 通信指令装置を更新
4 月 1 日 集中管理システムの導入により、職員 3 名を減ずる。総員 187 名
昭和 63 年 2 月 17 日 通信指令室に地図検索装置及び気象観測装置を設備
11 月 8 日 鶴岡地区消防事務組合課題検討委員会を設置し、高齢化対策等諸課題について検討
平成元年 3 月 20 日 救助工作車を購入、消防署に配備
6 月 5 日 査察車を購入（更新）消防本部に配備
11 月 30 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）藤島分署に配備
平成 2 年 10 月 20 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）櫛引分署に配備
11 月 1 日 愛の福祉電話受信センター設備(災害弱者緊急通報システム)を通信指令室に設置
平成 3 年 3 月 18 日 救急自動車 2B 型を購入（更新）消防署に配備
4 月 1 日 消防職員の高齢化対策として、事務組合構成市町村への身分移行始まる
（鶴岡市 4 名、羽黒町 1 名、櫛引町 2 名、朝日村 1 名、温海町 1 名）
6 月 21 日 水防指令車を購入（更新）消防本部に配備
8 月 30 日 救急自動車 2B 型を購入（更新）駅前分署に配備
11 月 15 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）三川分署に配備
平成 4 年 4 月 1 日 消防職員の高齢化対策として、8 名の職員が身分移行する
（鶴岡市 4 名、藤島町 1 名、三川町 2 名、温海町 1 名）
7 月 1 日 指揮２号車（トヨタクラウン）を購入（更新）消防本部に配備
11 月 12 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型（4WD）を購入（更新）朝日分署に配備
11 月 26 日 化学車 CD－Ⅱ型を購入（更新）駅前分署に配備
平成 5 年 4 月 1 日 6 名増員、総員 193 名
消防職員の高齢化対策として、2 名の職員が身分移行する
（羽黒町 1 名、藤島町 1 名）
6 月 29 日 広報２号車（ニッサン 4WD）を購入（更新）消防署に配備
7 月 22 日 日本防火協会から広報 1 号車(トヨタハイエース)の寄贈を受け、消防署に配備
8 月 30 日 日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車 CD―Ⅰ型の寄贈を受け、消防署に配備
12 月 13 日 水槽付消防ポンプ自動車 CD―Ⅰ型を購入（更新）消防署に配備
平成 6 年 4 月 1 日 4 名増員、総員 197 名
消防職員の高齢化対策として、4 名の職員が鶴岡市に身分移行する
4 月 1 日 消防職員の高齢化対策として、7 名の職員が鶴岡市に身分移行する
9 月 5 日 緊急消防援助隊に救助隊を登録
11 月 14 日 山形県広域応援隊に関する覚書の締結

12 月 20 日 緊急消防援助隊派遣に関する要領の策定
平成 8 年 1 月 16 日 高規格救急自動車を購入、消防署に配備
1 月 29 日 高度救命処置用資器材を購入
1 月 31 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型（4WD）を購入（更新）温海分署に配備
2 月 27 日 櫛引分署新庁舎竣工（櫛引町役場庁舎改築関連事業）
（敷地面積 458.12 ㎡　建築面積 178.2 ㎡　木造平屋建カラー鉄板葺）
4 月 1 日 4 名増員、総員 201 名
消防長の階級を消防正監、消防次長を消防監とする
消防本部予防課に指導係を設置、消防署は消防・通信・警防・予防・救急の 5 係制とし、救急隊を専隊化、業務執行体制の強化を図る
9 月 31 日 救急自動車 2B 型を購入(更新)朝日分署に配備
10 月 1 日 職員の勤務条件及び厚生福利等の向上を図るため、消防組織法に基づき鶴岡地区消防事務組合職員委員会を設置する
12 月 17 日 大規模災害時における消防活動の支援団体として、元消防職員による「消防ボランティア」が発足
平成 9 年 1 月 10 日 格納庫・リフト付き消防資器材搬送車を購入、消防署に配備
3 月 4 日 (財)日本宝くじ協会の援助を受けた(財)救急振興財団から、応急手当の普及啓発を促進するため、救急指導車の寄贈を受け、消防署に配備
平成 9 年 4 月 1 日 2 名増員、総員 203 名
7 月 18 日 大規模災害用資材としてエアーテント A―66 型を購入、消防署に配備
12 月 24 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）消防署に配備
平成 10 年 1 月 7 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を購入（更新）湯野浜分署に配備
2 月 9 日 山形県共済農業協同組合連合会等から救急自動車 2B 型の寄贈を受け、駅前分署に配備
4 月 1 日 消防署通信係を課制の通信指令室に改め、管理職員を配置して通信体制の強化を図る
山形県消防防災航空隊の発隊に伴い、隊員 1 名を派遣する
8 月 31 日 愛の福祉電話（災害弱者緊急通報システム）受信センター設備更新
平成 11 年 4 月 1 日 駅前分署を消防・救急の 2 係制とし、救急体制の強化を図る
12 月 1 日 藤島分署車庫棟竣工
救急高度化推進事業として、藤島分署に救急自動車 2B 型を配備、運用を開始する
平成 12 年 1 月 20 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を 2 台購入(更新)駅前分署及び羽黒分署に配備
3 月 9 日 通信指令室の地図検索装置を更新
3 月 17 日 日本損害保険協会から高規格救急自動車の寄贈を受け、駅前分署に配備
5 月 16 日 全国消防長会組合消防委員会を当地区で開催する。
11 月 28 日 指揮１号車（トヨタランドクルーザー）を購入（更新）消防署に配備
平成 13 年 4 月 1 日 消防署の係制を警備第１課・警備第２課の課制に改め、それぞれに管理職員を配置して警防体制の強化を図るとともに通信指令室を通信指令課に改める
温海分署を消防・救急の 2 係制とし、体制の強化を図る
平成 14 年 1 月 24 日 消防ポンプ自動車 CD－Ⅰ型を 2 台購入(更新)

藤島分署及び櫛引分署に配備
3月31日 消防緊急通信指令施設の老朽化に伴い、改修工事を施工するとともに、通信指令課の事務室及び仮眠室を改修する
4月 1日 朝日分署及び藤島分署に救急担当係長を配置し、救急体制の強化を図る
平成15年 2月 1日 救助工作車Ⅲ型を購入(更新)消防署に配備
4月 1日 水難救助隊が発足
7月18日 高規格救急自動車を購入(更新)、消防署に配備
11月25日 羽黒分署車庫棟竣工
救急高度化推進事業として、羽黒分署に救急自動車2B型を配備・運用を開始する
12月25日 はしご自動車を購入(更新)消防署に配備
平成16年 7月17日 緊急消防援助隊（新潟県内集中豪雨）出動
10月23日 緊急消防援助隊（新潟県中越地震）出動
平成17年10月 1日 組合構成市町村のうち、三川町を除く市町村が合併し、組合構成市町が鶴岡市と三川町となる
10月11日 高規格救急自動車を購入(更新)温海分署に配備
12月25日 山形県広域応援隊(庄内町ＪＲ脱線事故)出動
平成18年 6月 1日 消防バイク隊発足
10月27日 高規格救急自動車を購入（更新）朝日分署に配備
平成19年 1月10日 消防バスを消防署に配備（福祉課より所管換え）
3月31日 鶴岡地区消防事務組合解散
4月 1日 鶴岡市消防本部発足
三川町の消防事務委託を受託
8月 9日 水上バイクを購入し消防署に配備
8月29日 広報３号車及び査察車(トヨタノア)を購入(更新)し、消防本部に配備
11月 7日 バンカー型防火衣を全職員に貸与
11月19日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を2台購入(更新)
大山分署及び朝日分署に配備
12月 1日 西分署新庁舎竣工（湯野浜分署前国道拡幅工事のため）
(敷地面積 2,551.42㎡ 建築面積 437.77㎡ 鉄筋コンクリート平屋建て)
西分署に高規格救急自動車を配備、運用を開始する
大山分署が西分署の分遣所となる
平成20年 2月20日 広報１号車（トヨタハイエース）を購入（更新）し、消防本部に配備
6月14日 緊急消防援助隊（岩手・宮城内陸地震）出動
7月24日 緊急消防援助隊（岩手沿岸北部を震源とする地震）出動
10月 1日 消防本部・本署庁舎建設着工
10月13・14日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練を鶴岡市赤川河川敷公園及び湯野浜温泉で実施（97機関・176隊・763名参加）
11月 1日 高規格救急自動車を購入（更新）駅前分署に配備
平成22年 3月 1日 高規格救急自動車を購入（更新）藤島分署に配備
10月28日 JA共済連山形から高規格救急自動車の寄贈を受け、消防署に配備
平成23年 3月11日 緊急消防援助隊（東日本大震災・大船渡市）出動

3月18日 高機能消防指令センター運用開始
3月31日 西分署大山分遣所を廃止
4月 1日 美咲町に消防本部・本署新庁舎竣工（馬場町より移転）
（建築面積2,219.93㎡、地上5階＋塔屋1階、仮眠室棟、屋内訓練棟、屋上場外離着陸場、屋外救助訓練棟）
馬場町の旧本署が中央分署となる
平成24年 3月 1日 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入消防署に配備
4月 1日 消防本部警防課の2係制を改編し、警防係と管理係に改め、管理職員を含め3名増員し、地域庁舎で担当していた消防団事務を一元的に取扱うこととし、総員206名（条例職員定数207名）となった
6月29日 第24回消防救助山形県指導会を当消防本部訓練場にて開催
7月19日 第41回東北地区支部消防救助技術指導会を当消防本部訓練場にて開催
11月25日 高規格救急自動車を購入（更新）中央分署に配備
12月12日 救助資器材搭載型消防ポンプ自動車を購入（更新）温海分署に配備
平成25年 4月12日 文園町に中央分署新庁舎開署（馬場町から移転）
（敷地面積 1,175.25㎡ 建築面積 260.28㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
9月24日 鶴岡市消防救急デジタル無線整備着工
平成26年 3月28日 化学消防ポンプ自動車購入（更新）消防署に配備
平成27年 2月16日 高規格救急自動車を購入（更新）西分署に配備
4月 1日 鶴岡市消防救急デジタル無線運用開始
4月13日 温海分署新庁舎開署（温海釜谷坂から移転）
（敷地面積 1,770.34㎡ 建築面積 264.66㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
11月 1日 予防３号車（日産エクストレイル）を購入（更新）し、消防本部に配備
12月21日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）消防署に配備
平成28年 2月10日 高規格救急自動車を購入（更新）消防署に配備
3月30日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）西分署に配備
4月13日 三川分署新庁舎開署（同一敷地内に建設）
（敷地面積 1,184.94㎡ 建築面積 217.50㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
4月15日 北分署（旧駅前分署）新庁舎開署（宝町から移転）
（敷地面積 1,055.58㎡ 建築面積 265.74㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て）
6月30日 愛の福祉電話受信センター設備(災害弱者緊急通報システム）業務終了
12月 2日 羽黒分署新庁舎開署（羽黒地域庁舎へ併設移転）
（敷地面積 7,399.13㎡ 分署部分延べ面積1階416.58㎡
鉄筋コンクリート造2階建て）
平成29年 3月 3日 積載1号車(積載重量4.75t）を購入(更新)消防署に配備
4月 3日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）藤島分署に配備
平成30年 2月20日 水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を購入(更新)西分署に配備
3月27日 指揮1号車を購入(更新)消防署に配備
3月31日 高規格救急自動車を購入(更新)北分署に配備
4月 1日 1名増員、総員207名
平成31年 2月28日 高規格救急自動車を購入(更新)温海分署に配備
3月13日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）北分署に配備
3月20日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）羽黒分署に配備

3月28日 緊急消防援助隊に係る総務省消防庁無償使用車両の津波・大規模風水害対策車（新規）を消防署に配備
4月 1日 1名減員、総員206名
令和元年 6月18日 山形県沖を震源とする地震発生
発生時間 22時22分　規模 マグニチュード6.7　震度6弱（鶴岡市）
10月 1日 Net119緊急通報システムと119番等多言語通訳サービスを導入し、運用開始
10月13日 緊急消防援助隊（台風19号・宮城県丸森町）出動
令和 2年 1月15日 予防２号車（火災原因調査車）を購入（更新）消防本部に配備
2月18日 救助工作車Ⅱ型を購入（更新）消防署に配備
3月13日 高機能消防指令システムを部分更新し運用開始
4月 1日 1名増員、総員207名
7月28日 最上川水害発生　鶴岡市消防本部管内でも多数の被害が発生
11月30日 １２誘導心電図伝送システム運用開始
令和 3年 3月 4日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）消防署に配備
3月19日 高規格救急自動車を購入(更新)朝日分署に配備
8月24日 藤島分署新庁舎開署
(敷地面積 2,272.38㎡ 建築面積 479.48㎡ 鉄筋コンクリート造2階建て)
12月24日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）櫛引分署に配備
令和 4年 3月24日 小型動力ポンプ付水槽車を購入　消防署に配備
12月12日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）朝日分署に配備
12月31日 西目地内土砂災害発生（災害規模：幅約100m,高さ20～30m）
【出動隊】鶴岡市消防本部　　：10隊114名
山形県消防広域応援隊：37隊135名
令和 5年 3月29日 高規格救急自動車を購入（更新）羽黒分署に配備
6月26日 荘内三菱電機商品販売株式会社から高規格救急自動車の寄贈を受け、中央分署に配備
6月28日 第34回山形県消防救助技術指導会を当本部にて開催
7月26日 第51回東北地区支部消防救助技術指導会（陸上の部）を当本部にて開催
8月 2日 消防救急デジタル無線設備部分更新（～令和7年2月まで）
12月4日 消防ポンプ自動車CD－Ⅰ型を購入（更新）中央分署に配備
令和 6年　7月25日 大雨による水害発生　鶴岡市消防本部管内でも多数の被害が発生
10月2・3日 全国消防協会東北地区支部救急実務講習会を当本部にて開催
令和 7年 1月20日 新防火衣へモデルチェンジ
令和 7年3月27日 高規格救急自動車を購入（更新）藤島分署に配備
4月 1日 消防バイク登録抹消（廃車）に伴うバイク隊解散及び規程等廃止
6月30日 朝日分署新庁舎開署（朝日地域庁舎へ併設移転）
（敷地面積 9,446.76㎡ 分署部分延べ面積2階462.55㎡
鉄筋コンクリート造2階建て）
令和 8年 2月 5日 鶴岡市高機能消防指令センター整備事業完了、新システム運用開始
3月12日 高規格救急自動車を購入（更新）消防署、西分署に配備
4月 1日 職員定数条例の一部改正に伴う定数214名、実員数210名となる

消防庁舎の現況

（R8.4.1現在）

区分／署別	所在地	庁舎面積（㎡）				設置年月日	備考
		構造	建築面積	延面積	敷地面積		
消防本部 本署	鶴岡市美咲町36-1	鉄筋コンクリート造 ５階建、一部鉄骨造	2,219.93	5,609.70	9,501.79	S24. 4. 1 H23. 4. 1	開設 新築移転
中央分署	鶴岡市文園町1－63	鉄筋コンクリート造 ２階建	260.28	440.55	1,175.25	H23. 4. 1 H25. 4.12	開設 新築移転
北分署	鶴岡市道形町12－17	鉄筋コンクリート造 ２階建	265.74	444.36	1,055.58	H28. 4.15	開設
西分署	鶴岡市下川 字龍花崎41－697	鉄筋コンクリート造 平屋建	437.77	437.77	2,551.42	H19.12. 1	開設
温海分署	鶴岡市湯温海 字湯之尻289	鉄筋コンクリート造 ２階建	264.66	478.67	1,770.34	S49. 3.28 H27. 4.13	開設 新築移転
朝日分署	鶴岡市下名川 字落合1	鉄筋コンクリート造 ２階建	243.27	462.55	9,446.76	S49. 3.28 R 7. 5.19	開設 新築移転
羽黒分署	鶴岡市羽黒町荒川 字前田元89	鉄筋コンクリート造 平屋建	433.54	416.58	7,399.13	S49.10. 1 H28.12. 2	開設 新築移転
藤島分署	鶴岡市藤島 字笹花51－1	鉄筋コンクリート造 ２階建	265.25	479.48	2,272.38	S49.10. 1 R 3. 8.24	開設 新築移転
櫛引分署	鶴岡市上山添 字文栄78－1	木造カラー鉄板葺 平屋建	178.20	178.20	458.12	S50.10. 1 H 8. 2.27	開設 新築移転
三川分署	三川町大字横山 字西田85-1	鉄筋コンクリート造 ２階建	217.50	365.90	1,184.94	S50.10. 1 H28. 3.16	開設 新築移転

管内情勢

（R8.4.1現在）

区分 / 市町別	人口（住民登録） A	世帯数	面積 B	人口密度 A÷B	消防ポンプ台数	消防吏員1人当り 人口	消防吏員1人当り 世帯数	消防ポンプ車1台当り 人口	消防ポンプ車1台当り 世帯数
	人		㎢	人		人		人	
鶴岡市	113,767	49,311	1,311.51	86.7	13	643	279	8,751	3,793
鶴岡	83,077	37,661	－	－	8	856	352	10,385	4,708
藤島	8,697	3,190	－	－	1	621	228	8,697	3,190
羽黒	7,017	2,594	－	－	1	501	185	7,017	2,594
櫛引	6,179	2,210	－	－	1	618	221	6,179	2,210
朝日	3,151	1,205	－	－	1	225	86	3,151	1,205
温海	5,646	2,451	－	－	1	314	136	5,646	2,451
三川町	6,943	2,571	33.22	209.0	1	694	257	6,943	2,571
合計	120,710	51,882	1,344.73	89.8	14	4,473	1,744	56,769	22,722

月別気象情報

種別 / 月別	気温（℃） 最高	最低	平均	湿度（%） 最小	平均	実効平均	風向・風速(m/s) 平均風速	最大風速 風速	最大風速 風向	瞬間最大風速 風速	瞬間最大風速 風向	降雨量(mm)
1月	9.6	-4.0	2.1	39.9	78.4	78.4	4.0	17.5	西南西	28.1	西北西	164.5
2月	12.7	-3.7	2.0	18.4	67.8	68.2	6.3	19.3	北西	30.6	西	40.5
3月	26.1	-1.8	6.2	27.8	69.7	69.1	4.4	17.7	西	27.8	西南西	54.0
4月	23.5	-2.0	11.0	22.6	77.1	76.2	3.7	15.1	西	27.1	西南西	99.5
5月	29.6	3.1	15.7	31.4	76.7	76.4	3.1	14.1	西南西	25.0	西南西	95.5
6月	33.6	11.2	21.8	33.9	80.6	79.5	2.5	10.7	西	18.0	西	71.5
7月	35.9	18.4	27.1	45.8	76.9	77.6	2.4	9.0	西北西	14.5	南東	3.0
8月	36.1	18.6	26.6	30.1	82.2	80.9	2.5	9.7	西南西	17.8	南西	227.0
9月	35.1	13.1	23.1	43.1	81.2	81.3	2.5	11.5	西	21.3	西北西	269.0
10月	28.1	1.7	15.4	39.4	80.0	79.9	2.5	13.5	西北西	23.8	西北西	263.5
11月	18.5	0.0	9.7	43.6	73.8	73.8	4.0	15.3	北西	26.6	西北西	198.0
12月	19.6	-3.0	5.0	32.8	76.4	75.6	4.7	17.9	西北西	32.0	西北西	172.5
年間	36.1	-4.0	13.8	18.4	76.7	76.4	3.6	19.3	西	32.0	西北西	総雨量 1,658.5
												月平均 138.2

協定書及び覚書締結状況　　（R8.4.1現在）

No.	協定及び覚書内容	協定及び覚書相手先	締結年月日
1	山形県広域消防相互応援協定	市町村・組合消防	S53.3.10～
2	月山及び筍沢地区並びに羽黒スキー場における火災・救急に関する覚書	酒田地区広域行政組合	S63.1.20～
3	月山トンネルにおける通信施設の一部使用及び管理に関する覚書	西村山広域行政事務組合・酒田河川国道事務所月山国道維持出張所	H5.2.3～
4	山形県消防広域応援隊に関する覚書	県内消防	H7.11.14～
5	山形県消防防災ヘリコプター応援協定	山形県・市町村・組合消防	H10.4.1～
6	都市ガス災害対策に関する覚書	鶴岡警察署・庄内中部ガス株式会社	H13.4.1～
7	救急救命士の行う特定行為に対する医師の指示に関する覚書	医療法人徳州会　山北徳州会病院	H13.5.1～
8	月山第一トンネル内における消防業務に関する覚書	西村山広域行政事務組合	H14.10.25～
9	救急車退出路の使用に関する覚書	東日本高速道路株式会社東北支社	H14.11.8～
10	山形県防災情報システムの設置及び管理運用に関する協定書	山形県	H14.11.29～
11	都市ガス災害対策に関する覚書	鶴岡警察署・鶴岡ガス株式会社	H16.5.31～
12	三川町と鶴岡市との間における消防事務の委託に関する協定	三川町	H19.4.1～
13	庄内空港及びその周辺における消火救護活動に関する協定書	山形県	H19.4.1～
14	消防相互応援協定（消防団）	村上市	H20.4.1～
15	鶴岡市 村上市 消防相互応援協定に基ずく覚書の改正	村上市	R3.3.25～
16	鉄道災害における消防機関と鉄道事業者の連携に関する覚書	県内消防・山辺町・中山町・鉄道株式会社5社	H21.10.1～
17	日本海東北自動車道における救急業務に関する覚書	酒田地区広域行政組合 東日本高速道路株式会社東北支社	H24.3.16～
18	山形自動車道における救急業務の覚書	酒田地区広域行政組合 東日本高速道路株式会社東北支社	H24.3.16～
19	山形自動車道及び日本海東北自動車道ににおける消防相互応援に関する覚書	酒田地区広域行政組合	H24.3.24～
20	災害時における消防用水等の供給支援に関する協定書	庄内生コンクリート協同組合	H30.2.7～
21	防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定書	全日本不動産協会山形県本部	R3.2.10～
22	防火対象物の消防用設備等点検結果報告の情報提供にかかる協定書	山形県宅地建物取引業協会	R3.2.10～
23	職員の派遣に関する協定書（防災航空隊）	山形県	R6.4.1～R9.3.31
24	覚書（防災航空隊）	山形県	R6.4.1
25	災害等対応時の相互協力に関する協定書	鶴岡警察署	R7.7. 23～
26	職員の派遣に関する協定書（防災航空隊）	山形県	R8.4.1～R11.3.31

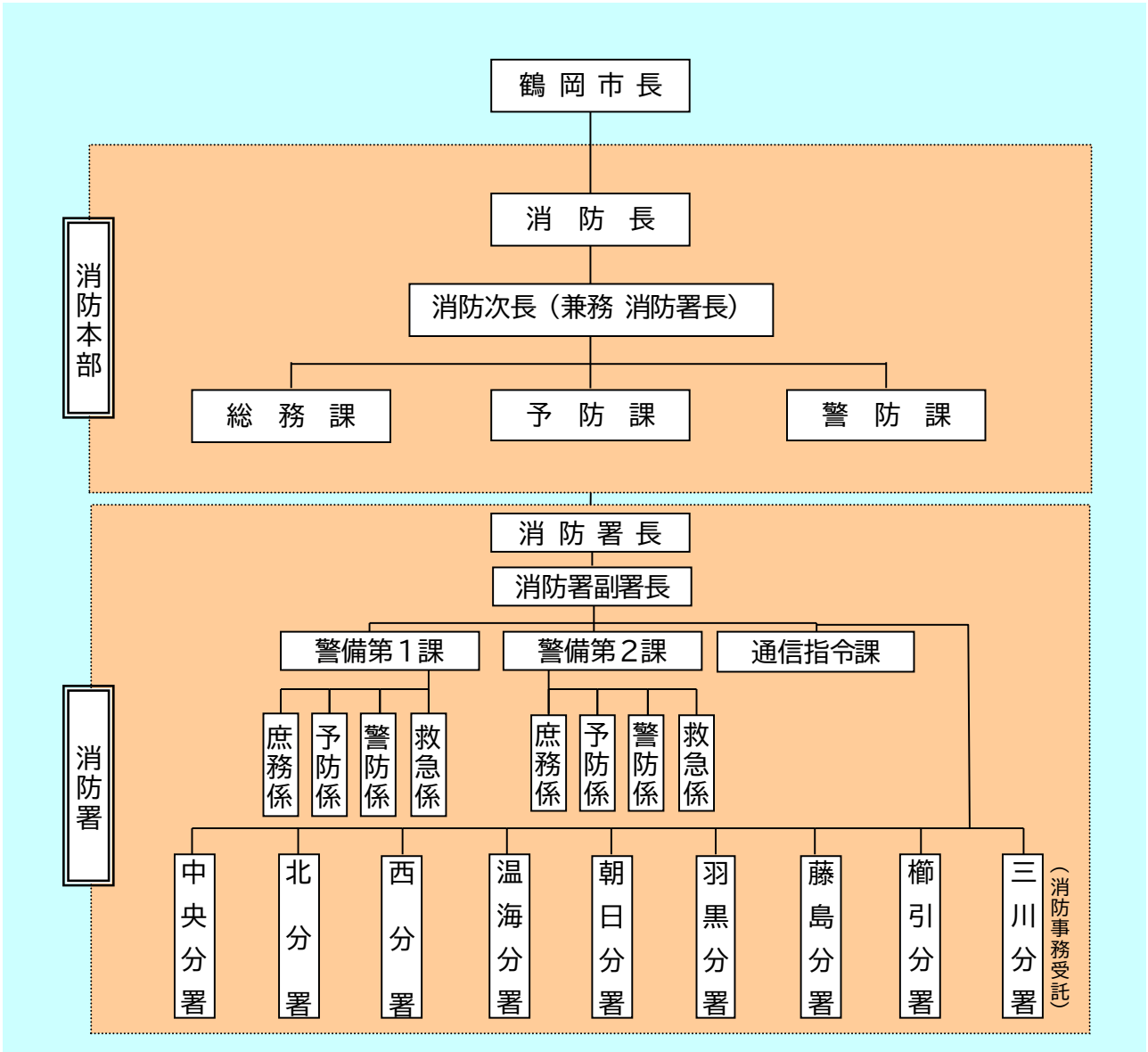
総　務　編



消防本部庁舎外観

組　　織

（R8.4.1現在）



歴代消防長・消防次長・消防署長　（R8.4.1現在）

【鶴岡地区消防事務組合】

1　歴代消防長

歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	今井林作	S48. 4. 1	S49. 3.31
2代	朝岡仲次	S49. 4. 1	S52. 5.31
3代	本間文雄	S52. 6. 1	S56. 3.31
4代	北村敏男	S56. 4. 1	S60.12.24
5代	佐々木敬輔	S60.12.25	S63. 3.31
6代	今野陽三	S63. 4. 1	H 5. 3.31
7代	伊藤秀文	H 5. 4. 1	H 7. 3.31
8代	本間昭彦	H 7. 4. 1	H 9. 3.31
9代	鈴木壽和	H 9. 4. 1	H11. 3.31
10代	中村良一	H11. 4. 1	H13. 3.31
11代	佐藤弘	H13. 4. 1	H16. 3.31
12代	長谷川政敏	H16. 4. 1	H19. 3.31

2　歴代消防次長

歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	本間文雄	S48. 4. 1	S52. 5.31
2代	菅原保	S52. 6. 1	S59. 3.31
3代	蛸井佑吉	S59. 4. 1	S60. 3.31
4代	皆川亮	S60. 4. 1	H 2. 3.31
5代	田澤光廣	H 2. 4. 1	H 7. 3.31
6代	青柳孝治	H 7. 4. 1	H 9. 3.31
7代	板垣壮典	H 9. 4. 1	H10. 3.31
8代	中村良一	H10. 4. 1	H11. 3.31
9代	佐藤均	H11. 4. 1	H12. 3.31
10代	佐藤弘	H12. 4. 1	H13. 3.31
10代	佐藤丈彦	H12. 4. 1	H16. 3.31
11代	今野孝彦	H13. 4. 1	H15. 3.31
12代	遠見昌圀	H15. 4. 1	H17. 3.31
13代	眞田荘左ェ門	H16. 4. 1	H19. 3.31

3　歴代消防署長

歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	本間文雄	S48. 4. 1	S52. 5.31
2代	菅原保	S52. 6. 1	S57. 3.31
3代	蛸井佑吉	S57. 4. 1	S60. 3.31
4代	皆川亮	S60. 4. 1	H 2. 3.31
5代	本間昭彦	H 2. 4. 1	H 7. 3.31
6代	板垣壮典	H 7. 4. 1	H10. 3.31
7代	佐藤均	H10. 4. 1	H12. 3.31
8代	佐藤丈彦	H12. 4. 1	H16. 3.31
9代	遠見昌圀	H16. 4. 1	H17. 3.31
10代	眞田荘左ェ門	H17. 4. 1	H19. 3.31

【鶴岡市消防本部】

1　歴代消防長

歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	白井宗雄	H19. 4. 1	H21. 3.31
2代	板垣博	H21. 4. 1	H24. 3.31
3代	秋庭一生	H24. 4. 1	H27. 3.31
4代	神林只男	H27. 4. 1	H28. 3.31
5代	長谷川幸吉	H28. 4. 1	H31. 3.31
6代	佐藤利洋	H31. 4. 1	R 2. 3.31
7代	大川治	R 2. 4. 1	R 4. 3.31
8代	岡部信宏	R 4. 4. 1	R 6. 3.31
9代	五十嵐多樹夫	R 6. 4. 1	R 7. 3.31
10代	伊藤慶也	R 7. 4. 1	R 8. 3.31
11代	清野健	R 8. 4. 1	現在

2　歴代消防次長

歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	工藤照治	H19. 4. 1	H21. 3.31
2代	澁谷力	H21. 4. 1	H23. 3.31
3代	難波正広	H23. 4. 1	H26. 3.31
4代	神林只男	H26. 4. 1	H27. 3.31
5代	佐藤巖	H27. 4. 1	H28. 3.31
6代	丸山博	H28. 4. 1	H29. 3.31
7代	渡部徹	H29. 4. 1	H31. 3.31
8代	大川治	H31. 4. 1	R 2. 3.31
9代	今野伸	R 2. 4. 1	R 5. 3.31
10代	五十嵐多樹夫	R 5. 4. 1	R 6. 3.31
11代	小池敏明	R 6. 4. 1	R 7. 3.31
12代	阿達和夫	R 7. 4. 1	現在

3　歴代消防署長

歴代	氏名	就任年月日	離任年月日
初代	工藤照治	H19. 4. 1	H21. 3.31
2代	澁谷力	H21. 4. 1	H23. 3.31
3代	難波正広	H23. 4. 1	H26. 3.31
4代	神林只男	H26. 4. 1	H27. 3.31
5代	佐藤巖	H27. 4. 1	H28. 3.31
6代	丸山博	H28. 4. 1	H29. 3.31
7代	渡部徹	H29. 4. 1	H31. 3.31
8代	大川治	H31. 4. 1	R 2. 3.31
9代	今野伸	R 2. 4. 1	R 5. 3.31
10代	五十嵐多樹夫	R 5. 4. 1	R 6. 3.31
11代	小池敏明	R 6. 4. 1	R 7. 3.31
12代	阿達和夫	R 7. 4. 1	現在

令和８年度　当初予算

１　年度当初予算の比較

（単位：千円）

区　　分		８年度当初予算（千円）	７年度当初予算（千円）	対　前年比	
				金　額(千円)	割　合(%)
一般会計総額		79,110,000	80,770,000	△ 1,660,000	97.94
消防費		2,765,165	3,207,099	△ 441,934	86.2
（対　一般会計構成比）		3.5	4.0	－	－
消防費の内訳	常備消防費	2,230,666	2,765,165	△ 534,499	80.7
	非常備消防費	205,415	211,498	△ 6,083	97.1
	消防施設費	208,709	181,115	27,594	115.2
	水防費	596	596		100.0
	災害対策費	66,337	43,710	22,627	151.8
	遭難対策費	5,304	5,015	289	105.8

２　過去５年間の歳出決算額（一般会計との比較）

年度	一　般　会　計（千円）	消　防　費（千円）	対　一般会計構成比（%）
令和2	91,074,154	2,279,193	2.5
令和3	77,276,042	2,483,768	3.2
令和4	75,774,885	2,126,897	2.8
令和5	75,583,645	2,345,609	3.1
令和6	78,223,884	2,505,562	3.2

職員採用状況

（R8.4.1 現在）

年　度	職員定数	採用者数
昭和48	117 名	30 名
昭和49	144 名	28 名
昭和50	168 名	25 名
昭和51	168 名	0 名
昭和52	176 名	10 名
昭和53	182 名	8 名
昭和54	189 名	9 名
昭和55	190 名	1 名
昭和56	190 名	2 名
昭和57	190 名	2 名
昭和58	190 名	2 名
昭和59	190 名	4 名
昭和60	190 名	2 名
昭和61	190 名	3 名
昭和62	187 名	1 名
昭和63	187 名	2 名
平成元	187 名	4 名
平成２	188 名	7 名
平成３	187 名	11 名
平成４	187 名	12 名
平成５	194 名	9 名
平成６	197 名	11 名
平成７	197 名	8 名
平成８	201 名	6 名
平成９	203 名	5 名

年　度	職員定数	採用者数
平成10	203 名	6 名
平成11	203 名	1 名
平成12	203 名	5 名
平成13	203 名	1 名
平成14	203 名	5 名
平成15	203 名	4 名
平成16	203 名	4 名
平成17	203 名	5 名
平成18	203 名	3 名
平成19	203 名	8 名
平成20	203 名	3 名
平成21	203 名	5 名
平成22	203 名	4 名
平成23	203 名	4 名
平成24	207 名	10 名
平成25	207 名	8 名
平成26	207 名	12 名
平成27	207 名	10 名
平成28	207 名	10 名
平成29	207 名	10 名
平成30	207 名	5 名
平成31	207 名	6 名
令和２	207 名	10 名
令和３	207 名	4 名
令和４	207 名	4 名

年　度	職員定数	採用者数
令和５	207 名	3 名
令和６	207 名	2 名
令和７	207 名	10 名
令和８	214 名	6 名

令和８年度　消防学校等入校計画

１　山形県消防学校

初任科	４月　７日	～	９月１７日	１６４日間	６名
幹部科	６月　９日	～	６月１７日	９日間	２名
救助科	９月２８日	～	１０月３０日	３３日間	２名
救急救命士継続教育	１０月　５日	～	１０月　７日	３日間	２名
救急科	１１月　４日	～	１２月２５日	５２日間	９名
警防（特殊災害）科	１月１９日	～	２月　４日	１７日間	１名
火災調査科	２月２５日	～	３月１１日	１５日間	１名

２　救急救命士養成

救急救命東京研修所（前期）	４月　１日	～	９月３０日	６カ月	１名
救急救命東京研修所（後期）	９月　３日	～	３月１６日	６カ月	１名

３　消防大学校

新任消防長・学校長科	５月１１日	～	５月２１日	１１日間	１名
指揮隊長コース	５月　７日	～	５月２１日	１５日間	１名
消防団活性化推進コース	９月　２日	～	９月　８日	７日間	１名

消防職員配置状況

（R8.4.1 現在）

所属別＼階級別		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防吏員以外の職員	合計
消防長		1 人	人	人	人	人	人	人	人	人	1 人
消防本部	消防次長		1								1
	総務課				1	3	2			1	7
	予防課			1	3	2	1	1			8
	警防課			1	2	2	1			1	7
消防署長			(1)								(1)
消防副署長				2							2
消防署	本署 警備第１課			(1) 2	6	3	5	7			(1) 23
	本署 警備第２課			(1) 2	6	4	5	6			(1) 23
	本署 通信指令課			1	5	2	2				10
	分署 中央			(1)	6	3	1	5	2		(1) 17
	分署 北			(1)	4	2	4	2	1		(1) 13
	分署 西				5	3	4	4	2		18
	分署 温海				6	2		6	4		18
	分署 朝日				3	3	1	4	3		14
	分署 羽黒				3	3	2	4	2		14
	分署 藤島				4	2	3	3	2		14
	分署 櫛引				4		1	1	4		10
	分署 三川				3	1	2		4		10
合計		1	(1) 1	(4) 9	61	35	34	43	24	2	(5) 210

（注） 1 （ ）は兼務
2 総務課配置の職員3名を日本消防協会（消防司令補）及び山形県消防防災航空隊（消防司令補、消防士長）派遣含む。
3 再任用職員1名を除く。

年齢別消防職員数

（R8.4.1 現在）

年齢別＼階級別	合計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	消防吏員以外の職員
平均年齢	39.4	59.0	57.0	56.3	52.5	44.0	35.6	28.4	22.5	51.3
年齢合計	8,281	59	57	507	2,990	1,496	1,245	1,305	517	105
吏員数	210	1	1	9	61	34	35	43	24	2
18才～20才	8								8	
21才～25才	20							6	14	
26才～30才	30							28	2	
31才～35才	32						23	9		
36才～40才	19					7	12			
41才～45才	16					16				
46才～50才	27				15	11				1
51才～55才	33				32					1
56才以上	25	1	1	9	14					

（注） 再任用職員（1名）を除く

在職年数別消防職員数

（R8.4.1 現在）

階級別／年別	合計	消防吏員							消防吏員以外の職員
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
職員数	人 210	人 1	人 1	人 9	人 61	人 35	人 34	人 43	人 24	人 2
５年未満	21	1							20	
５年以上10年未満	26						2	20	4	
10年以上15年未満	41					1	17	23		
15年以上20年未満	21					6	15			
20年以上25年未満	18					18				
25年以上30年未満	17				8	8				1
30年以上	66		1	9	53	2				1

（注）　再任用職員（1名）を除く

消防職員数の推移

（R8.4.1 現在）

階級別／年別	合計	消防吏員							消防吏員以外の職員
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
平成29年	204	1	1	10	33	54	27	32	43	3
平成30年	207	1	1	10	43	46	26	38	39	3
平成31年 令和元年	206	1	1	9	47	43	26	45	31	3
令和 2年	207	1	1	9	47	41	24	48	33	3
令和 3年	207	1	1	9	48	37	27	52	29	3
令和 4年	209	1	1	10	49	35	31	54	26	2
令和 5年	210	1	1	10	50	33	37	53	23	2
令和 6年	209	1	1	9	55	35	33	51	21	3
令和 7年	208	1	1	9	57	35	34	46	23	2
令和 8年	210	1	1	9	61	34	35	43	24	2

（注）　再任用職員（1名）を除く

各種免許・特殊技能等資格取得状況

（R8.4.1現在）

免許の種別		所有人数
自動車運転免許	大型	160
	中型	20
	準中型	7
	普通（大型等所持者を除く）	15
	二輪（大型含む）	70
予防技術者	防火査察専門員	60
	消防用設備等専門員	27
	危険物専門員	20
消防設備士	甲種	7
	乙種	34
消防設備点検資格者		0
危険物取扱者	甲種	3
	乙種	152
	丙種	13
火薬類	甲種取扱保安責任者	1
	乙種取扱保安責任者	1
毒物劇物取扱責任者		3
特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者		8
有機溶剤作業主任者		4

免許の種別		所有人数
衛生管理者		22
特殊無線技士		152
救急	指導救命士	2
	救急救命士	50
	気管挿管認定救命士	36
	薬剤投与認定救命士	52
	エピネフリン製剤使用講習修了救命士	48
	救急隊員資格者（救命士除く）	124
赤十字水上安全法救助員		7
小型移動式クレーン運転技能		97
玉掛け技能		86
溶接技能者		26
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		21
高圧ガス製造保安責任者		2
小型船舶操縦免許		86
特殊小型船舶操縦免許		85
潜水士		110
ダイビングライセンス		42
特別管理産業廃棄物管理責任者		3

音楽隊編成表

（R8.4.1現在）

担当	指揮者	フルート	クラリネット	アルトサックス	ソプラノサックス	テナーサックス	バリトンサックス	トランペット	ホルン	トロンボーン	ユーフォニアム	パーカッション	スーザホン
29人	1	2	6	2	1	1	1	4	2	2	2	4	1

消防救助技術大会 出場記録



消防救助技術大会

1　全国大会

大会回数	実施年月日	出場種目
2	昭和48年9月21日	救命索発射銃
3	昭和49年9月10日	高所人命救助
		50m自由形水中検索
		200mメドレー
4	昭和50年9月10日	高所人命救助
		ロープ登はん
6	昭和52年8月18日	ロープ応用登はん
7	昭和53年8月22日	ロープ応用登はん
8	昭和54年8月24日	引揚救助
22	平成5年8月20日	ロープ登はん
26	平成9年8月22日	ロープ登はん
27	平成10年8月27日	ロープブリッジ渡過
29	平成12年8月18日	ロープ登はん
31	平成14年8月23日	はしご登はん
		ロープブリッジ救出
32	平成15年8月28日	基本泳法
		溺者救助
		水中検索救助
		人命救助
33	平成16年8月26日	人命救助
35	平成18年8月24日	溺者救助
37	平成20年8月29日	基本泳法
		溺者救助
39	平成22年8月27日	基本泳法
		人命救助
41	平成24年8月7日	はしご登はん
		ロープ応用登はん
		障害突破
46	平成29年8月23日	ロープブリッジ渡過
48	令和元年8月25日	ロープブリッジ渡過
50	令和4年8月26日	基本泳法
51	令和5年8月25日	基本泳法
		溺者搬送
52	令和6年8月23日	基本泳法
		溺者救助
		溺者搬送
53	令和7年8月30日	人命救助
		溺者救助

2　東北地区支部指導会

大会回数	実施年月日	出場種目
1	昭和47年8月30日	はしご登はん
2	昭和48年7月5日	救命索発射銃
3	昭和49年7月30日	高所人命救助
		50m自由形水中検索
		200mメドレー
		1００m自由形
4	昭和50年7月30日	高所人命救助
		ロープ登はん
6	昭和52年7月27日	ロープ応用登はん
7	昭和53年7月28日	ロープ応用登はん
8	昭和54年7月27日	引揚救助
9	昭和55年7月25日	ロープ応用登はん
		ほふく救出
10	昭和56年7月24日	ロープ応用登はん
		ほふく救出
11	昭和57年7月23日	高所人命救助
		引揚救助
12	昭和58年7月28日	高所人命救助
13	昭和59年7月26日	引揚救助
14	昭和60年7月24日	引揚救助
15	昭和61年7月23日	引揚救助
		ロープ登はん
16	昭和62年7月23日	ほふく救出
19	平成2年7月19日	引揚救助
		ほふく救出
20	平成3年7月24日	ロープブリッジ渡過
		ほふく救出
		引揚救助
21	平成4年7月16日	ロープ登はん
22	平成5年7月22日	ロープ登はん
23	平成6年7月21日	ロープ登はん
24	平成7年7月20日	斜めブリッジ救助
		ロープ登はん
25	平成8年7月25日	斜めブリッジ救助
		ロープブリッジ渡過
		ロープ登はん
26	平成9年7月17日	はしご登はん
		ロープ登はん
		ロープブリッジ渡過
		ロープ応用登はん
27	平成10年7月23日	ロープブリッジ渡過
		ロープブリッジ救出
28	平成11年7月15日	ロープブリッジ救出
		ロープブリッジ渡過
		斜めブリッジ救助
29	平成12年7月13日	ロープブリッジ救出
		ロープ登はん
		ロープブリッジ渡過
30	平成13年7月12日	ロープブリッジ救出
		ロープ登はん
		ロープ応用登はん
31	平成14年7月18日	はしご登はん
		ロープ登はん(2名)
		ロープ応用登はん
		ロープブリッジ渡過
		ロープブリッジ救出
		斜めブリッジ救助

大会回数	実施年月日	出場種目
32	平成15年8月5日	ロープブリッジ渡過
		斜めブリッジ救助
		基本泳法
		溺者救助
		水中検索救助
		人命救助
33	平成16年7月7日	基本泳法
		溺者救助
34	平成17年7月20日	溺者救助
		水中検索救助
35	平成18年7月14日	溺者救助
		人命救助
	平成18年7月20日	障害突破
37	平成20年7月18日	基本泳法
		溺者救助
39	平成22年7月15日	基本泳法
		人命救助
41	平成24年7月19日	引揚救助
		障害突破
		ロープブリッジ救出
42	平成25年7月25日	引揚救助
		障害突破
44	平成27年7月30日	引揚救助
		障害突破
45	平成28年7月29日	障害突破
46	平成29年7月19日	引揚救助
		障害突破
47	平成30年7月25日	引揚救助
		障害突破
48	令和元年7月24日	引揚救助
		障害突破
50	令和4年7月20日	障害突破
		ロープブリッジ救出
		基本泳法
51	令和5年7月19日	基本泳法
		溺者搬送
		人命救助
		溺者救助
	令和5年7月26日	障害突破
		引揚救助
		ロープブリッジ救出
52	令和6年7月17日	基本泳法
		溺者搬送
		人命救助
		溺者救助
	令和6年7月26日	障害突破
		引揚救助
		ロープブリッジ救出
53	令和7年7月16日	基本泳法
		人命救助
		溺者搬送
		溺者救助
	令和7年7月29日	障害突破
		引揚救助
		ロープブリッジ救出

予　防　編



火災現場の様子

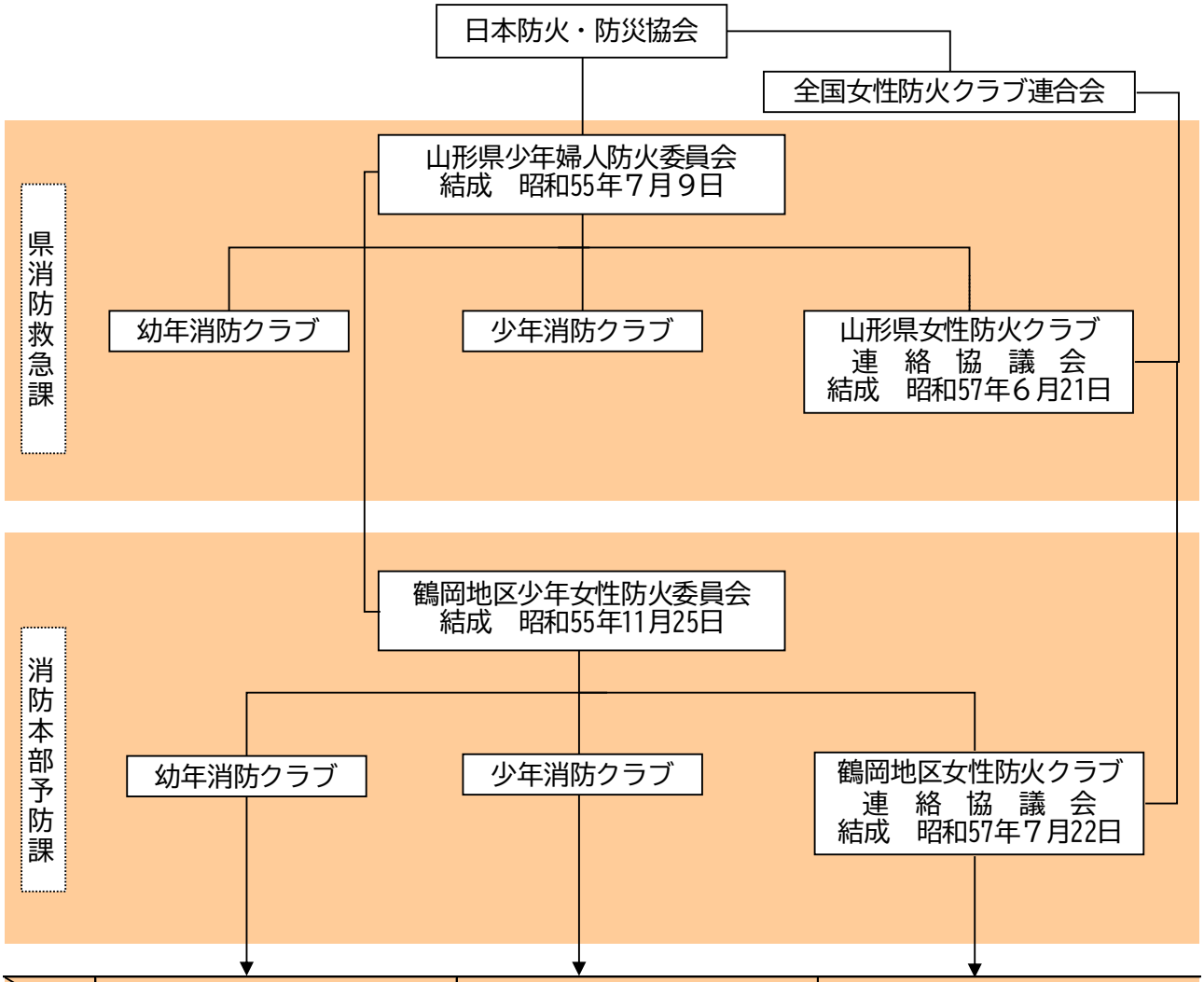
防火活動状況

1　防火研修会及び消防訓練実施状況

（R7.4.1～R8.3.31）

指導派遣区分 / 市町別	回数			参加人数			職員派遣人数		
	防火研修会	訓練	計	防火研修会	訓練	計	防火研修会	訓練	計
鶴岡市	9	469	478	416	22,876	23,292	29	1,556	1,585
鶴岡	7	296	303	356	15,715	16,071	21	934	955
藤島	1	39	40	30	1,452	1,482	2	151	153
羽黒		56	56		2,864	2,864		186	186
櫛引		44	44		2,030	2,030		132	132
朝日		13	13		315	315		54	54
温海	1	21	22	30	500	530	6	99	105
三川町		54	54		2,528	2,528		164	164
合計	9	523	532	416	25,404	25,820	29	1,720	1,749

2　幼年消防クラブ・少年消防クラブ・婦人防火クラブ組織状況　（R8.4.1 現在）



		幼年消防クラブ	少年消防クラブ	女性防火クラブ
鶴岡市	鶴岡	団体数　9　779 名	団体数　9　114 名	団体数　1　84 名 湯野浜地区婦人防火クラブ 結成　昭和59年10月９日
	藤島	団体数　1　78 名	—	団体数　1　65 名 藤島地域婦人防火クラブ 結成　昭和58年３月21日
	羽黒	団体数　1　112 名	—	—
	櫛引	—	団体数　2　24 名	団体数　1　30 名 櫛引地域婦人防火クラブ 結成　昭和59年１月12日
	朝日	—	団体数　2　21 名	—
	温海	団体数　1　47 名	—	—
三川町		団体数　1　115 名	—	団体数　1　9 名 三川町女性防火クラブ 結成　昭和59年３月２日
計		団体数　13　1,131 名	団体数　13　159 名	団体数　4　188 名

防火管理

防火管理者を定めなければならない防火対象物及び選任対象物

（R8. 3. 31 現在）

防火対象物の区分＼市町別			鶴岡市														三川町		合　計	
					鶴岡		藤島		羽黒		櫛引		朝日		温海					
			防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数	防火対象物数	選任対象物数
(1)	イ	劇場等	9	7	6	6	1		1	1					1		1	1	10	8
	ロ	公会堂等	64	64	38	38	9	9	8	8	3	3	1	1	5	5	3	3	67	67
(2)	イ	キャバレー等																		
	ロ	遊技場等	11	11	11	11											3	3	14	14
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																		
	ニ	カラオケボックス等	2	2	2	2													2	2
(3)	イ	料理店等	4	4	3	3	1	1											4	4
	ロ	飲食店	114	109	93	88	1	1	7	7	3	3	7	7	3	3	5	5	119	114
(4)		百貨店等	182	181	152	151	9	9	5	5	8	8	2	2	6	6	21	21	203	202
(5)	イ	旅館等	95	95	58	58	2	2	21	21	1	1	2	2	11	11			95	95
	ロ	共同住宅等	12	11	11	10									1	1			12	11
(6)	イ	病院等	27	27	25	25	1	1			1	1					1	1	28	28
	ロ	養護老人ホーム等	48	48	32	32	2	2	6	6	6	6	1	1	1	1	4	4	52	52
	ハ	老人デイサービス等	81	81	61	61	3	3	5	5	9	9	1	1	2	2	2	2	83	83
	ニ	幼稚園等	6	6	4	4	1	1			1	1							6	6
(7)		学校	49	49	33	33	5	5	1	1	6	6	2	2	2	2	4	4	53	53
(8)		図書館等	5	5	3	3			1	1			1	1					5	5
(9)	イ	特殊浴場																		
	ロ	一般浴場	2	2	1	1					1	1							2	2
(10)		停車場等																		
(11)		神社・寺院等	92	92	59	59	13	13	4	4	4	4	6	6	6	6	8	8	100	100
(12)	イ	工場等	53	53	40	40	3	3	4	4	4	4	2	2			4	4	57	57
	ロ	スタジオ																		
(13)	イ	駐車場等	1	1	1	1													1	1
	ロ	航空機格納庫																		
(14)		倉庫																		
(15)		事務所等	152	150	99	97	10	10	5	5	11	11	10	10	17	17	17	17	169	167
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	140	129	100	93	5	3	9	9	5	5	11	11	10	8	13	11	153	140
	ロ	一般複合用途防火対象物	20	14	10	8			4	2	3	3	1		2	1	4	4	24	18
(16の2)		地下街																		
(16の3)		準地下街																		
(17)		文化財	12	12	5	5	1	1	4	4	1	1	1	1					12	12
合　計			1,181	1,153	847	829	67	64	85	83	67	67	48	47	67	63	90	88	1,271	1,241

査察

1　査察対象事業所等状況

（R8.3.31 現在）

査察区分	用途・規模等	査察執行基準	査察対象物数		
			防火対象物	危険物施設	合計
第１種	（１） 消防法第８条の２の２第１項に規定する防火対象物定期点検報告制度に該当する対象物のうち、消防法第８条の２の３第１項に規定する特例認定を受けない防火対象物 （２） 危険物製造所等のうち、製造所、移動タンク貯蔵所及び給油取扱所	１年に１回以上	110	233	343
第２種（第１種に該当するものを除く。）	（１） 消防法第８条の２の２第１項に規定する防火対象物定期点検報告制度に該当する対象物のうち、消防法第８条の２の３第１項に規定する特例認定を受けた防火対象物 （２） 消防法施行令第11条第１項及び第２項の規定の適用を受ける特定防火対象物 （３） 危険物製造所等	３年に１回以上	264	367	631
第３種（第１種又は第２種に該当するものを除く。）	消防法施行令第21条第１項の規定の適用を受ける防火対象物	５年に１回以上	1,067	0	1,067
第４種（第１種から第３種までのいずれかに該当するものを除く。）	鶴岡市火災予防条例施行規則（平成19年規則第５号）第４条に規定する面積以上の防火対象物	火災の発生状況等から総合的に判断して実施する	1,820	0	1,820
合計			3,261	600	3,861

2　防火対象物定期点検報告制度対象物数

（R8.3.31 現在）

対象物の区分＼市町別			鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	三川町	合計
(1)	イ	劇場等	7	6		1				1	8
	ロ	公会堂等	60	36	7	6	4	2	5	4	64
(2)	ロ	遊技場等	9	9						3	12
(2)	ニ	カラオケボックス等	1	1							1
(3)	ロ	飲食店	5	3		2				1	6
(4)		百貨店等	46	37	5		2		2	10	56
(5)	イ	旅館等	31	24		1			6	6	37
(6)	イ	病院等	6	5			1			3	9
	ロ	養護老人ホーム等	5	1	3			1		1	6
	ハ	老人デイサービスセンター等	1		1						1
	ニ	幼稚園等	1	1							1
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	20	16	2			2		2	22
合　計			192	139	18	10	7	5	13	31	223

3　防災管理点検報告制度対象物数

（R8.3.31 現在）

対象物の区分＼市町別			鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	三川町	合計
(6)	イ	病院等	1	1							1
(7)		学校	1	1							1
(12)	イ	工場等	1	1							1
合　計			3	3							3

4　防火対象物の現況と査察実施状況

（R7.4.1～R8.3.31 現在）

防火対象物の区分 ＼ 市町別			鶴岡市														三川町		合　計	
					鶴岡		藤　島		羽　黒		櫛　引		朝　日		温　海					
			防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数	防火対象物数	対象物延査察実施数
(1)	イ	劇場等	10	5	6	3	1	1	1		1	1			1		1		11	5
	ロ	公会堂等	79	49	44	23	12	15	10	5	4	1	3		6	5	5	3	84	52
(2)	イ	キャバレー等	1		1														1	
	ロ	遊技場等	13	1	13	1											3	2	16	3
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																		
	ニ	カラオケボックス等	2	1	2	1													2	1
(3)	イ	料理店等	4		3		1												4	
	ロ	飲食店	137	24	107	19	3		11	1	4		7	1	5	3	6	1	143	25
(4)		百貨店等	275	99	223	76	16	8	12	5	11	5	5	1	8	4	21	8	296	107
(5)	イ	旅館等	166	89	100	63	2	2	29	11	5	3	5		25	10	5	6	171	95
	ロ	共同住宅等	685	21	661	18	1		8		3		2	1	10	2	16		701	21
(6)	イ	病院等	97	11	80	9	4	1	2		6	1	2		3		6	3	103	14
	ロ	養護老人ホーム等	88	28	55	16	6	6	12	6	10		4		1		8	2	96	30
	ハ	老人デイサービス等	142	43	108	36	5	2	9	3	12	1	4		4	1	6	1	148	44
	ニ	幼稚園等	16	6	14	6	1				1						1		17	6
(7)		学校	130	16	79	8	14	7	16		10		4		7	1	15	4	145	20
(8)		図書館等	10	5	3	1	1	1	3	2	2	1	1						10	5
(9)	イ	特殊浴場																		
	ロ	一般浴場	5	1	2				1		1	1	1				1	1	6	2
(10)		停車場等																		
(11)		神社・寺院等	127	13	83	7	14	3	8	3	7		8		7		9		136	13
(12)	イ	工場等	869	89	533	46	111	12	39	3	108	20	29	3	49	5	79	8	948	97
	ロ	スタジオ																		
(13)	イ	駐車場等	99	16	56	11	9	3	10		12	2	12				13	1	112	17
	ロ	航空機格納庫																		
(14)		倉庫	371	43	242	23	46	8	21		35	5	14	4	13	3	34	6	405	49
(15)		事務所等	633	70	359	41	70	12	72	5	53	5	34		45	7	68	7	701	77
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	157	48	120	36	4	3	9	5	7	1	8	2	9	1	11	4	168	52
	ロ	一般複合用途防火対象物	85	11	58	6	3	1	6	2	10	1	4		4	1	4	1	89	12
(16の2)		地下街																		
(16の3)		準地下街																		
(17)		文化財	40	26	18	10	2	2	16	13	2	1	2						40	26
(18)		アーケード																		
合　計			4,241	715	2,970	460	326	87	295	64	304	49	149	12	197	43	312	58	4,553	773

5　建築確認同意事務処理状況

（R7.4.1～R8.3.31 現在）

防火対象物の区分＼市町別			鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	三川町	合計
(1)	イ	劇場等									
	ロ	公会堂等									
(2)	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場等									
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
(3)	イ	料理店等									
	ロ	飲食店									
(4)		百貨店等	7	5			1		1		7
(5)	イ	旅館等	1	1							1
	ロ	共同住宅等									
(6)	イ	病院等	1	1							1
	ロ	養護老人ホーム等									
	ハ	老人デイサービス等	1	1							1
	ニ	幼稚園等									
(7)		学校									
(8)		図書館等									
(9)	イ	特殊浴場									
	ロ	一般浴場									
(10)		停車場等									
(11)		神社・寺院等									
(12)	イ	工場等	3	3						1	4
	ロ	スタジオ									
(13)	イ	駐車場等	6	5	1						6
	ロ	航空機格納庫									
(14)		倉庫	4	3			1				4
(15)		事務所等	9	9						2	11
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	3	2				1			3
	ロ	一般複合用途防火対象物									
(16の2)		地下街									
(16の3)		準地下街									
(17)		文化財									
(18)		アーケード									
危険物施設											
その他(小規模事業所・住宅)			60	53	2	4			1	6	66
合計			95	83	3	4	2	1	2	9	104

危険物規制

1　危険物施設現況数

（R8.3.31 現在）

施設区分 / 市町別	製造所	貯蔵所								取扱所			合計
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵タンク所	屋内貯蔵タンク所	地下貯蔵タンク所	簡易貯蔵タンク所	移動貯蔵タンク所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
鶴岡市	1	52	37	9	194		134	2	428	85	98	183	612
鶴岡	1	42	24	7	112		80		265	47	59	106	372
藤島		2	4		18		12		36	6	11	17	53
羽黒		1	2		16		8	2	29	4	5	9	38
櫛引		5	2		10		8		25	5	7	12	37
朝日			2	1	17		13		33	7	9	16	49
温海		2	3	1	21		13		40	16	7	23	63
三川町		7	3		17		15		42	4	3	7	49
合計	1	59	40	9	211		149	2	470	89	101	190	661

2　危険物施設の許認可等状況

（R7.4.1～R8.3.31 現在）

施設区分 / 処理状況	製造所	貯蔵所								取扱所			合計
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵タンク所	屋内貯蔵タンク所	地下貯蔵タンク所	簡易貯蔵タンク所	移動貯蔵タンク所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
設置許可			1				8		9				9
変更許可			1		5		2		8	11	10	21	29
設置完成検査		1	1				9		11				11
変更完成検査			1		5		2		8	11	9	20	28

液体危険物タンクの完成検査前検査									
水張検査					水圧検査				
10KL以下	10KLを超え1,000KL以下	1,000KLを超え2,000KL以下	2,000KLを超えるもの	合計	600L以下	600Lを超え10KL以下	10KLを超え20KL以下	20KLを超えるもの	合計
1	4			5					0

仮使用														
製造所	貯蔵所								取扱所			合計	仮貯蔵	仮取扱
	屋内貯蔵所	屋外貯蔵タンク所	屋内貯蔵タンク所	地下貯蔵タンク所	簡易貯蔵タンク所	移動貯蔵タンク所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計			
				1				1	10	6	16	17	1	6

3　年度別危険物施設数

（過去５年間）

施設区分／年度別	製造所	貯蔵所								取扱所			合計
		屋内貯蔵所	屋外貯蔵タンク所	屋内貯蔵タンク所	地下貯蔵タンク所	簡易貯蔵タンク所	移動貯蔵タンク所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
令和３年度		59	41	11	221		141	3	476	92	106	198	674
令和４年度	1	59	40	10	217		144	2	472	91	106	197	670
令和５年度	1	58	40	10	214		146	3	471	91	103	194	666
令和６年度	1	59	39	10	212		148	2	470	89	102	191	662
令和７年度	1	59	40	9	211		149	2	470	89	101	190	661

4　危険物施設立入検査実施状況

（R7.4.1～R8.3.31）

市町別	施設区分	製造所	貯蔵所								取扱所			合計
			屋内貯蔵所	屋外貯蔵タンク所	屋内貯蔵タンク所	地下貯蔵タンク所	簡易貯蔵タンク所	移動貯蔵タンク所	屋外貯蔵所	計	給油取扱所	一般取扱所	計	
鶴岡市	施設数	1	52	37	9	194		134	2	428	85	98	183	612
	延査察実施数	1	17	9	3	81		116		226	76	35	111	338
	鶴岡 施設数	1	42	24	7	112		79		264	47	59	106	371
	鶴岡 延査察実施数	1	15	6	3	47		69		140	47	23	70	211
	藤島 施設数		2	4		18		14		38	6	11	17	55
	藤島 延査察実施数			2		11		14		27	6	5	11	38
	羽黒 施設数		1	2		16		6	2	27	4	5	9	36
	羽黒 延査察実施数					7		6		13	3	1	4	17
	櫛引 施設数		5	2		10		8		25	5	7	12	37
	櫛引 延査察実施数		2			5		6		13	4	2	6	19
	朝日 施設数			2	1	17		13		33	7	9	16	49
	朝日 延査察実施数					3		11		14	4	1	5	19
	温海 施設数		2	3	1	21		14		41	16	7	23	64
	温海 延査察実施数			1		8		10		19	12	3	15	34
三川町	施設数		7	3		17		15		42	4	3	7	49
	延査察実施数		3	1		7		12		23	4	1	5	28
合計	施設数	1	59	40	9	211		149	2	470	89	101	190	661
	延査察実施数	1	20	10	3	88		128		249	80	36	116	366

火災統計

1　火災の概況

（前年比較）

区　　分	単位	令和7年（A）	令和6年（A）	増　減（A）−（B）＝（C）	増減率(%)（C）÷（B）×100
出火件数	件	37	30	7	23.3
建物		19	23	△ 4	△ 17.4
林野		1		1	皆増
車両		6		6	皆増
船舶					—
その他		11	7	4	57.1
焼損棟数	棟	22	34	△ 12	△ 35.3
全焼		3	9	△ 6	△ 66.7
半焼			5	△ 5	皆減
部分焼		8	9	△ 1	△ 11.1
ぼや		11	11	0	0.0
建物焼損床面積	㎡	504	1,346	△ 842	△ 62.6
建物火災１件当たりの焼損床面積		27	59	△ 32	△ 54.2
建物焼損表面積		81	277	△ 196	△ 70.8
林野焼損面積	a	5		5	皆増
死者	人	3	1	2	200.0
負傷者		4	2	2	100.0
り災世帯数	世帯	12	13	△ 1	△ 7.7
り災人員	人	30	39	△ 9	△ 23.1
損害額	千円	54,320	34,693	19,627	56.6
建物		15,426	33,421	△ 17,995	△ 53.8
林野					—
車両		1,066	1,223	△ 157	△ 12.8
船舶					—
その他		37,828	49	37,779	77,100.0
爆発					—
火災１件当たりの損害額		1,468	1,156	312	27.0
出火率	件/万人	3.0	2.4	0.6	—

（注）1　表中の空白は0、△は負数を表す。以下ことわりのない限り同じ。
2　火災が 2 種以上にわたった場合、火災件数は原則として損害額の大きい方で計上し、損害額は火災による損害を受けたものの火災種別ごとに計上している。以下ことわりのない限り同じ。
3　「焼損面積」は、表示単位未満を四捨五入した数値を計上している。以下ことわりのない限り同じ。
4　「死者」には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。以下ことわりのない限り同じ。
5　「損害額」の増減、増減率は、表示単位未満を四捨五入した数値により計算した。以下ことわりのない限り同じ。
6　「爆発」による損害額は、火災種別に関わらず、損害額中の爆発に計上している。以下ことわりのない限り同じ。
7　「出火率」とは、人口1万人当たりの出火件数をいう。以下ことわりのない限り同じ。
8　人口は各年とも3月31日現在の住民基本台帳による。以下ことわりのない限り同じ。

2　市町及び地域別火災発生状況

比較＼区分		件数	火災種別					焼損棟数					焼損面積		
			建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物焼損床面積（㎡）	建物焼損表面積（㎡）	林野（ａ）
鶴岡市	7年	31	15	1	6		9	2		7	9	18	279	80	5
	6年	28	21				7	6	3	8	10	27	993	249	
鶴岡	7年	18	11		3		4			4	7	11	8	31	
	6年	14	12				2	4	1	6	5	16	390	201	
藤島	7年	5	2				3				2	2			
	6年	3	2				1	1		2	1	4	289	48	
羽黒	7年	2	1		1			1		1		2	89	2	
	6年	1					1								
櫛引	7年	2	1				1	1		2		3	182	47	
	6年	7	6				1		2		4	6	26		
朝日	7年	1			1										
	6年	3	1				2	1				1	288		
温海	7年	3		1	1		1								5
	6年														
三川町	7年	6	4				2	1		1	2	4	225	1	
	6年	2	2					3	2	1	1	7	353	28	
合計	7年	37	19	1	6		11	3		8	11	22	504	81	5
	6年	30	23				7	9	5	9	11	34	1,346	277	

（前年比較）

り災世帯数				り災人員	死傷者		損害額（千円）						
全損	半損	小損	計		死者	負傷者	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発	計
1		10	11	24	3	4	11,277		1,066		37,827		50,170
5	1	4	10	28	1	2	25,019		1,193		49		26,261
		9	9	18	1	4	3,781		292				4,073
3	1	3	7	14	1	2	6,629		1,193		48		7,870
							1,826						1,826
							12,418						12,418
		1	1	3	1		1,032		39		13		1,084
1			1	3	1		4,638						4,638
1		1	2	11			1,830						1,830
									396				396
1			1	3			4,142				1		4,143
									339		37,814		38,153
											0		
1			1	6			4,149				1		4,150
1		2	3	11			8,402		30		0		8,432
2		10	12	30	3	4	15,426		1,066		37,828		54,320
6	1	6	13	39	1	2	33,421		1,223		49		34,693

3　月別火災発生状況

区分＼月別		件数	火災種別					焼損棟数					焼損面積		
			建物	林野	車両	船舶	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	建物焼損床面積（㎡）	建物焼損表面積（㎡）	林野（ａ）
1月	7年	1	1							1		1		5	
	6年	3	3						1	2		3	35	1	
2月	7年	1	1								1	1			
	6年	2	1				1			1		1	19	4	
3月	7年	2	1				1				1	1			
	6年	3	3					2		4	2	8	490	136	
4月	7年	5	2		1		2	1		1	1	3	89	2	
	6年	8	2				6		2			2	87	106	
5月	7年	1	1							1		1	5		
	6年														
6月	7年	4			2		2								
	6年	3	3					2			2	4	59		
7月	7年	7	2		1		4	1		2	1	4	182	47	
	6年														
8月	7年	5	3	1			1			1	2	3		1	5
	6年	1	1								1	1			
9月	7年	3	2				1				2	2			
	6年	3	3						1		2	3	4	1	
10月	7年	5	4		1					2	2	4	3	26	
	6年	1	1					3	1	1	1	6	349	28	
11月	7年	2	2					1			1	2	225		
	6年	1	1								1	1			
12月	7年	1			1										
	6年	5	5					2		1	2	5	303	1	
合計	7年	37	19	1	6		11	3		8	11	22	504	81	5
	6年	30	23				7	9	5	9	11	34	1,346	277	

（前年比較）

り災世帯数				り災人員	死傷者		損害額（千円）						
全損	半損	小損	計		死者	負傷者	建物	林野	車両	船舶	その他	爆発	計
		1	1	2	1		133						133
							675						675
		1	1	1			1						1
							132						132
						1	2,618						2,618
1	1	2	4	6	1		14,754						14,754
		1	1	3			1,035		396		13		1,444
2			2	3			3,464				1		3,465
							673						673
									569		37,814		38,383
		1	1	5			459		1,193		48		1,700
1			1	3	1		4,640				1		4,641
		2	2	2		1	227						227
		1	1	7			1						1
		1	1	5		2	1,969						1,969
							1,475						1,475
		3	3	7			213		62				275
1		2	3	11			8,056		30				8,086
1		1	2	7			3,917						3,917
						2	1						1
					1				39				39
2			2	7			4,404						4,404
2		10	12	30	3	4	15,426		1,066		37,828		54,320
6	1	6	13	39	1	2	33,421		1,223		49		34,693

4　原因別出火件数

種別／原因別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
たばこ	1					1
たき火					3	3
火あそび						
こんろ	3					3
放火	1					1
風呂かまど						
ストーブ						
放火の疑い						
マッチ・ライター						
煙突・煙道						
電灯・電話等の配線	1					1
その他	9	1	4		3	17
不明・調査中	4		2		5	11
合計	19	1	6		11	37

5　時間帯別出火件数

種別／時間帯別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
0時～2時	2					2
2時～4時	1				1	2
4時～6時						
6時～8時	1		1			2
8時～10時	4	1			1	6
10時～12時	2				5	7
12時～14時					1	1
14時～16時	2		2		2	6
16時～18時	2					2
18時～20時	2		2			4
20時～22時	1					1
22時～24時	1					1
不明	1		1		1	3
合計	19	1	6		11	37

6　曜日別出火件数

種別／曜日別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
日曜日	1				4	5
月曜日	3	1			2	6
火曜日	3		1		1	5
水曜日	5		1			6
木曜日	2		2		1	5
金曜日	3		2		2	7
土曜日	2				1	3
不明						
合計	19	1	6		11	37

7　初期消火器具等の使用状況

種別／初期消火別	建物	林野	車両	船舶	その他	合計
消火器	5		3		1	9
水をかけた	5	1	1		5	12
水バケツ等						
寝具衣類等	1					1
消火設備						
その他			1		1	2
合計	11	1	5		7	24

8　建物火災の用途別発生状況

用途区分	令別表区分	件数	焼損棟数	焼損床面積（㎡）	死者（人）	負傷者（人）	損害額（千円）
住宅（合計）		12	15	499	2	3	10,074
一般住宅		11	14	499	2	3	10,072
併用住宅		1	1				2
共同住宅	（5）項ロ						
防火対象物（住宅以外）（合計）		7	7	5			5,352
集会場	（1）項ロ	1	1				2
飲食店	（3）項ロ	1	1	5			673
物販店舗	（4）項	1	1				222
工場等	(12) 項イ	2	2				4,442
特定複合用途	(16) 項イ	1	1				3
非特定複合用途	(16) 項ロ	1	1				10
その他							
合計		19	22	504	2	3	15,426

（注）　防火対象物(一般住宅、併用住宅及びその他を除く。）の区分は、消防法施行令別表第１による。

9　住宅火災の出火箇所別発生状況

発生状況／出火箇所別	件数	件数割合（%）	焼損棟数	焼損床面積（㎡）	死者（人）	負傷者（人）	損害額（千円）
居室	5	41.7	7	407	2	1	8,690
台所	3	25.0	3			2	149
物置	1	8.3	1				2
その他	3	25.0	4	92			1,233
不明・調査中							
計	12	100.0	15	499	2	3	10,074

１０　住宅火災の原因別発生状況

原因別＼発生状況	件数	件数割合（%）	焼損棟数	焼損床面積（㎡）	死者（人）	負傷者（人）	損害額（千円）
たばこ	1	8.3	1			1	2
たき火							
火あそび							
こんろ	2	16.7	2			2	146
放火							
風呂かまど							
ストーブ							
放火の疑い							
マッチ･ライター							
煙突・煙道							
電灯・電話等の配線	1	8.3	2	89			1,032
その他	4	33.3	4	3			109
不明・調査中	4	33.3	6	407	2		8,785
合計	12	100.0	15	499	2	3	10,074

１１　住宅火災の曜日別発生状況

曜日別＼発生状況	件数	焼損棟数	焼損床面積（㎡）	損害額（千円）
日曜日	2	2		135
月曜日	2	2		148
火曜日	1	1		2
水曜日	3	5	182	4,739
木曜日	2	2	225	3,917
金曜日	1	1	3	101
土曜日	1	2	89	1,032
合計	12	15	499	10,074

１２　住宅火災における初期消火器具等の使用状況

発生状況 / 初期消火器具等	件数	焼損棟数 全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	焼損床面積（㎡）	損害額（千円）
初期消火あり	7	1		2	5	8	92	1,288
消火器	3	1		2	1	4	92	1,136
水をかけた	3				3	3		149
水バケツ等								
寝具衣類等	1				1	1		3
消火設備								
その他								
初期消火なし	5	2		4	1	7	407	8,786
合計	12	3		6	6	15	499	10,074

１３　総出火件数等

（過去５年間）

区分 / 年別	単位	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
出火件数	件	42	34	42	30	37
死者	人	4	3		1	3
負傷者	人	4	9	6	2	4
建物焼損床面積	㎡	2,430	1,776	2,377	1,346	504
損害額	千円	49,089	61,380	56,972	34,693	54,320

１４　住宅火災の推移

（過去５年間）

区分 / 年別	単位	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
出火件数	件	11	11	11	14	12
焼損棟数	棟	14	13	21	22	15
死者	人	3	3	0	1	2
負傷者	人	2	9	5		3
建物焼損床面積	㎡	863	781	1,767	969	499
損害額	千円	17,696	17,751	39,600	20,134	10,074

警　防　編



大　雨　災　害

主な消防機器の現況

（R8.4.1現在）

区分及び品名 ＼ 署名		本署	中央分署	北分署	西分署	温海分署	朝日分署	羽黒分署	藤島分署	櫛引分署	三川分署	合計
一般救助用器具	梯子（単）	5	1		2	1		1	1	1		12
	梯子（2連）											
	梯子（3連）	7	2	1	2	1	1	1	1	1	1	18
	空気式救助マット	2										2
	マンホール救助器具	1										1
	救命索発射装置	1										1
	ファイバースコープ	1										1
重量物排除器具	油圧ジャッキ（2ｔ）	1	1	2	2	5	1		1	1	1	15
	油圧スプレッダー	1				1						2
	油圧カッター	2				1						3
	油圧コンビツール	1										1
	ＡＣ電源接続ケーブル	5										5
	可搬式ウインチ	5				1						6
	機械式ウインチ	1										1
	マット型空気ジャッキ	8										8
破壊・切断用器具	削岩機	1										1
	電動ハンマードリル	1										1
	万能斧	8	4	2	4	2	1	2	3	3	1	30
	エンジンカッター	7	2	1	2	1	1	1	1	1	1	18
	チェーンソー	6			1		1	1		1	1	11
	エアーカッター	1										1
	ガソリン・酸素溶断機	1										1
呼吸保護器具	空気呼吸器	30	7	3	7	4	3	3	3	3	3	66
	空気ボンベ	171	18	8	16	9	8	8	8	7	7	260
	循環式酸素呼吸器	5										5
	送排風機	1										1
	高圧ガスコンプレッサー	1										1
隊員保護及び水難器具	耐電衣　（7000Ｖ）	4										4
	耐電手袋（7000Ｖ）	9										9
	耐電長靴（7000Ｖ）	4										4
	耐熱服	4										4
	放射線防護服	2										2
	陽圧式化学防護服	5										5
	救命ボート	4										4
	救命胴衣	29	7	6	6	6	4	4	4	4	4	74
	潜水用具	16										16
	水上バイク	1										1
大規模等災害	エアーテント	3										3
	赤外線カメラ	3										3
	暗視スコープ											
	画像探索機Ⅱ型	1										1
	地中音響探知機	1										1

消防車両等配備状況

（R8.4.1 現在）

所　属	車　名	車　種　名	購入年月	排気量（cc）	ポンプ	備　考
本　部	総務１号車	トヨタ　クラウン	H 4. 6	2,490		
	総務２号車	トヨタ　ノア	H19. 8	1,990		4WD
	予防１号車	トヨタ　ノア	H19. 8	1,990		4WD
	予防２号車	スズキ　エブリイ	R 2. 1	650		4WD
	予防３号車	ニッサン　エクストレイル	H27.10	1,990		4WD
	警防１号車	ホンダ　ステップワゴン	H19.11	1,990		4WD
本　署	水槽１号車	いすゞ	R 4. 3	5,190	シバウラ	2WD・5,000L水槽 B-2級消防小型動力ポンプ積載
	化学１号車	いすゞ	H26. 2	5,190	日本ドライ	Ⅱ型　４WD
	本署ポンプ１号車	日野	H27.11	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD・キャフス装置付き
	本署ポンプ２号車	日野	H19.11	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD・キャフス装置付き
	本署ポンプ３号車	日野	H19.11	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD・キャフス装置付き
	はしご１号車	日野	H15.12	20,780		30m級・4WS
	救助工作1号車	日野	R 2. 2	5,120		Ⅱ型・4WD クレーン、ウインチ、照明付き
	積載１号車	三菱	H29. 2	7,540		格納リフト付・コンテナタイプ・4.7トン積載
	積載２号車	いすゞ	H31. 3	5,190		津波・大規模風水害対策車 **※1）参照**
	指揮１号車	トヨタ　ハイエース	H30. 2	2,690		4WD
	指揮２号車	トヨタ　ランドクルーザー	H12.11	4,660		4WD・水上バイク牽引システム付き・照明付き
	広報１号車	トヨタ　ハイエース	H20. 2	2,690		4WD・バイク、水上バイク積載・牽引システム付き
	本署救急１号車	ニッサン	R8.2	2,480		高規格救急自動車・4WD
	本署救急２号車	トヨタ	H24.11	2,690		高規格救急自動車・4WD
	本署救急３号車	トヨタ	H27.12	2,690		高規格救急自動車・4WD
	ボートトレーラー	ソレックス	R7. 2	－		水上バイク牽引用

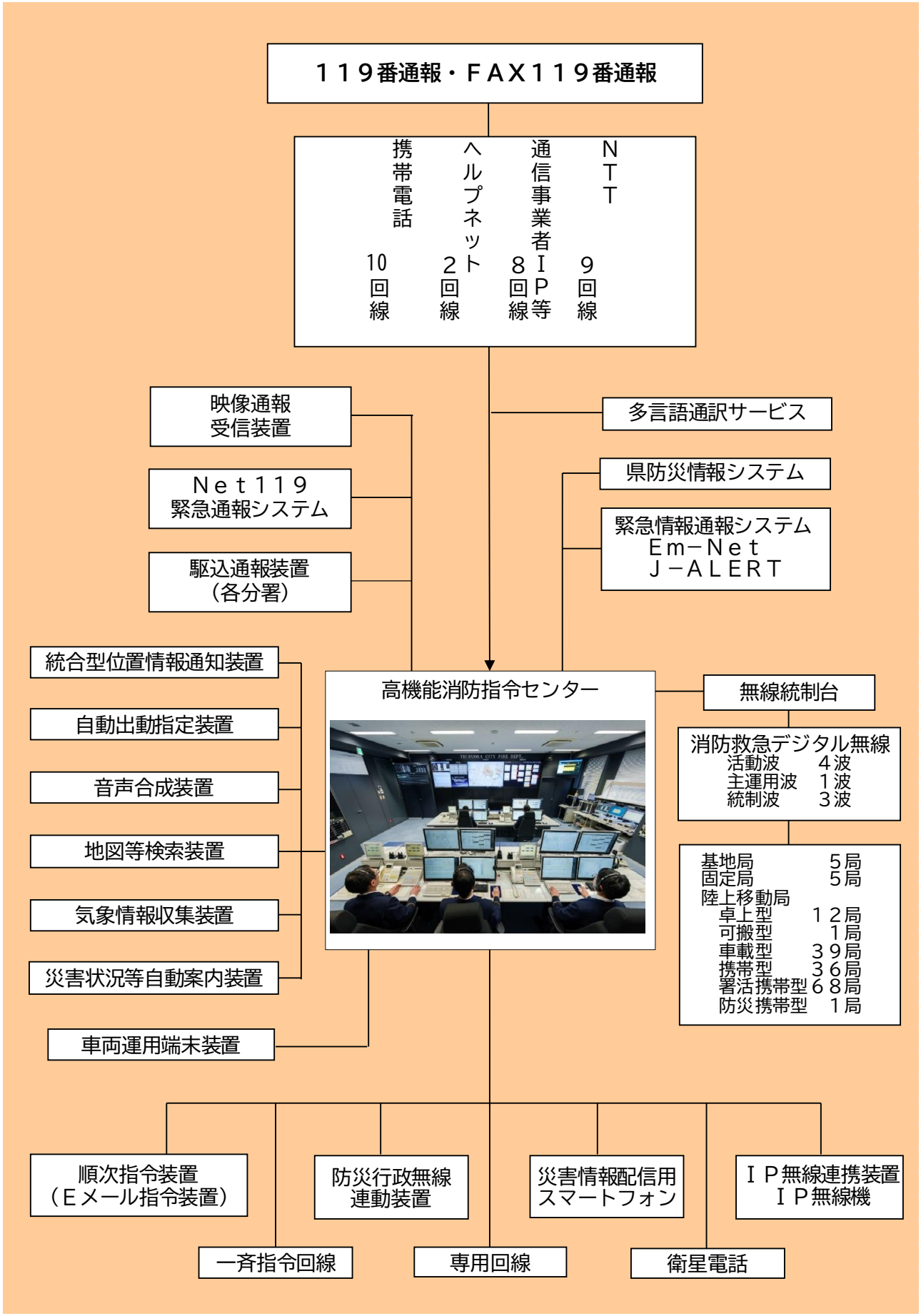
所　属	車　名	車　種　名	購入年月	排気量（cc）	ポンプ	備　考
中央分署	中央タンク1号車	日野	H24. 2	6,400	モリタ	水Ⅱ・4WD
	中央ポンプ１号車	日野	R5.10	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD
	中央救急１号車	ニッサン	R5.9	2,480		高規格救急自動車・4WD 荘内三菱電機商品販売株式会社より寄贈
北　分　署	北ポンプ１号車	日野	H31. 2	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD
	北救急１号車	ニッサン	H30. 3	3,490		高規格救急自動車・4WD
西　分　署	西タンク１号車	日野	H30. 1	5,120	モリタ	水Ⅱ・4WD・キャフス装置付き
	西ポンプ１号車	トヨタ	H28. 3	4,000	Ｇ　Ｍ	CD-Ⅰ・4WD・キャフス装置付き
	西救急１号車	ニッサン	R8.2	2,480		高規格救急自動車・4WD
温海分署	温海ポンプ１号車	日野	H24.12	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD・救助資機材積載 キャフス装置付き
	温海救急１号車	トヨタ	H31. 1	2,690		高規格救急自動車・4WD
朝日分署	朝日ポンプ１号車	日野	R 4. 9	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD
	朝日救急１号車	トヨタ	R 3. 3	2,690		高規格救急自動車・4WD
羽黒分署	羽黒ポンプ１号車	日野	H31. 3	4,000	日本ドライ	CD-Ⅰ・4WD
	羽黒救急１号車	トヨタ	R 5. 3	2,690		高規格救急自動車・4WD
藤島分署	藤島ポンプ１号車	日野	H29. 3	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD・キャフス装置付き
	藤島救急１号車	ニッサン	R7.3	2,480		高規格救急自動車・4WD
櫛引分署	櫛引ポンプ１号車	日野	R 3.12	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD
三川分署	三川ポンプ１号車	日野	R 3. 3	4,000	モリタ	CD-Ⅰ・4WD

※１）消防庁無償使用車両で水陸両用8輪バギー（748CC）を積載【4WD・格納リフト付き】

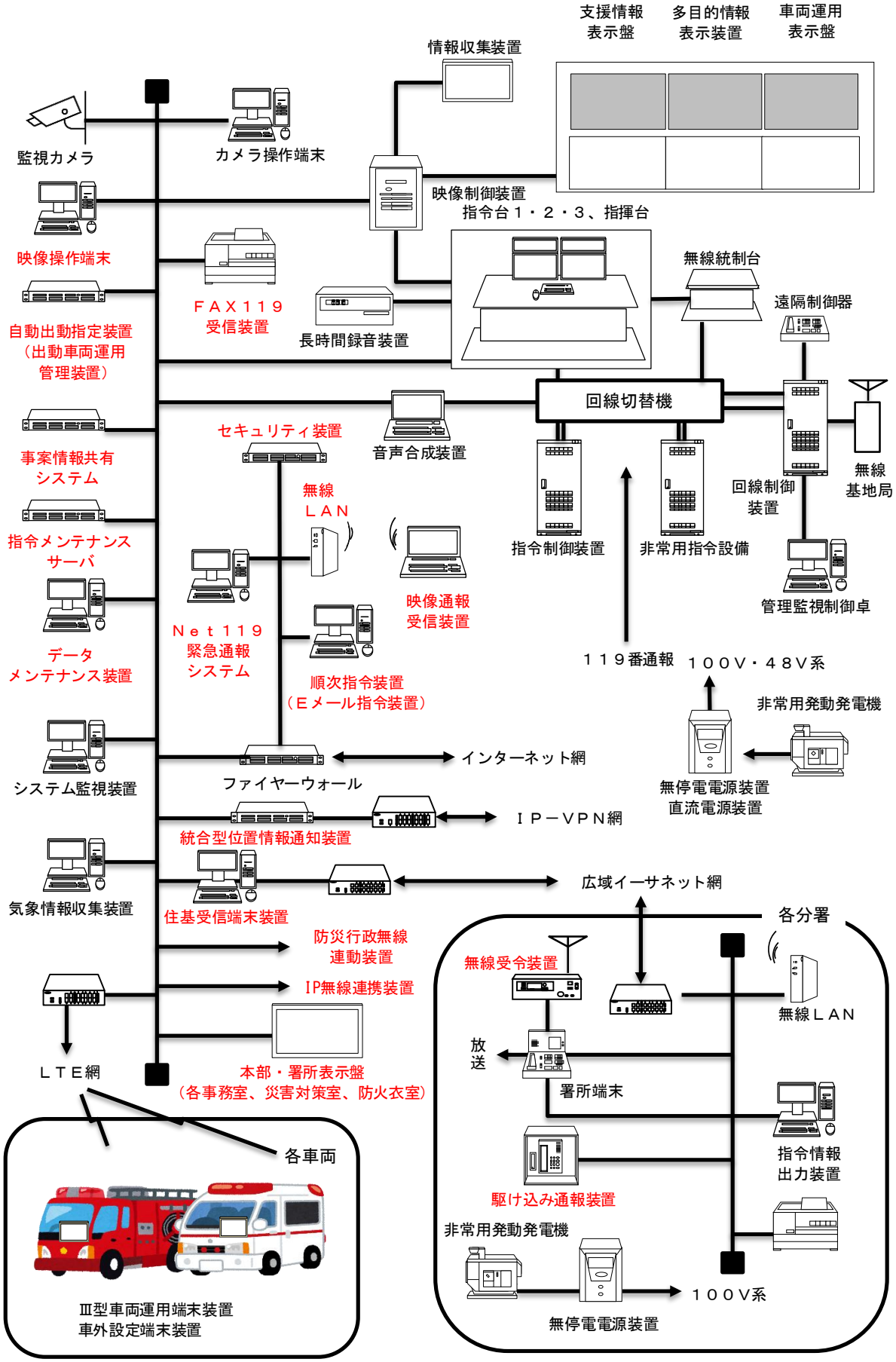
通信指令業務

1　通信系統図

（R8.4.1 現在）



2　鶴岡市高機能消防指令センター　システム図【令和８年２月運用開始】(R8.4.1 現在)



１１９番受信状況

１　月別受信状況

種別＼月別	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	合　計
火　　災	1	2	5	5	2	4	11	7	6	9	8		60
救急・救助	606	472	493	425	455	441	494	542	447	456	471	495	5,797
その他の災害						1							1
警　　戒	7	16	11	12	2	13	3	3	7	11	5	13	103
通報訓練	44	53	93	48	71	115	88	30	107	170	121	94	1,034
問い合わせ	10	9	20	11	15	7	10	11	6	4	13	9	125
間　違　い	27	29	23	33	28	27	29	32	17	24	19	26	314
悪　　戯					2		1				1		4
そ　の　他	17	20	28	19	10	19	15	25	9	10	11	10	193
他消防転送	11	2	1	8	5	4	1	7	3	6	5	3	56
合　　計	723	603	674	561	590	631	652	657	602	690	654	650	7,687

（注）　１　携帯電話からの通報を含む。
　　２　表中の数値には、同一災害による第２報、第３報等の通報及び災害と通報されたが結果的に災害にならない通報も含む。次表において同じ。

２　曜日別受信状況

種別＼曜日別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合　計
火　　災	8	10	5	10	10	10	7	60
救急・救助	835	886	848	834	823	790	781	5,797
その他の災害					1			1
警　　戒	13	21	8	17	15	15	14	103
通報訓練	35	158	180	214	218	186	43	1,034
問い合わせ	26	10	14	21	15	12	27	125
間　違　い	53	41	38	54	30	40	58	314
悪　　戯	1	1			1		1	4
そ　の　他	24	24	34	27	29	25	30	193
他消防転送	12	5	12	7	9	5	6	56
合　　計	1,007	1,156	1,139	1,184	1,151	1,083	967	7,687

一般加入電話受信状況

1　月別受信状況

月別 / 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災				4			2		3	2			11
救急・救助	7	2	2	5	5	6	6	7	6	4	5	5	60
その他の災害													
警戒	7	16	9	4	3	6	7	2	2	1	3	5	65
合計	14	18	11	13	8	12	15	9	11	7	8	10	136

2　曜日別受信状況

曜日別 / 種別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
火災	3	1	2		1	2	2	11
救急・救助	6	9	12	4	9	11	9	60
その他の災害								
警戒	5	12	8	10	14	5	11	65
合計	14	22	22	14	24	18	22	136

消防水利の現況

（R8.4.1 現在）

水利別＼市町別			鶴岡市							三川町	合計
				鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海		
消火栓	公設		3,958	2,203	307	371	286	324	467	241	4,199
	私設		67	38	9	10	9		1	24	91
	小計		4,025	2,241	316	381	295	324	468	265	4,290
防火水槽	公設	100㎥ 以上	16	10	2		3		1		16
		60～100㎥ 未満	45	33			2	4	6	1	46
		40～ 60㎥ 未満	863	347	118	67	70	130	131	87	950
		20～ 40㎥ 未満	195	28	97	16	33	13	8	12	207
		小計	1,119	418	217	83	108	147	146	100	1,219
	私設	100㎥ 以上	3	3							3
		60～100㎥ 未満	3	3						2	5
		40～ 60㎥ 未満	48	35	4	3	6			16	64
		20～ 40㎥ 未満	8	6	2					14	22
		小計	62	47	6	3	6			32	94
	公設・私設計	100㎥ 以上	19	13	2		3		1		19
		60～100㎥ 未満	48	36			2	4	6	3	51
		40～ 60㎥ 未満	911	382	122	70	76	130	131	103	1,014
		20～ 40㎥ 未満	203	34	99	16	33	13	8	26	229
		小計	1,181	465	223	86	114	147	146	132	1,313
合計			5,206	2,706	539	467	409	471	614	397	5,603

中高層建築物の現況

1　市町及び地域別状況　（R8.4.1現在）

市町別＼階数別	4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階以上	合 計
鶴岡市	112 (52)	31 (14)	21 (4)	5 (3)	7 (3)	2 (1)	15 (3)	193 (80)
鶴岡	94 (46)	30 (14)	18 (3)	3 (2)	6 (3)	2 (1)	14 (2)	167 (71)
藤島	1							1
羽黒	1	1						2
櫛引	3							3
朝日	3							3
温海	10 (6)		3 (1)	2 (1)	1		1 (1)	17 (9)
三川町	2							2
合計	114 (52)	31 (14)	21 (4)	5 (3)	7 (3)	2 (1)	15 (3)	195 (80)

（注）　（　）内は、梯子車架てい不能又は障害があるもの。

2　用途別状況

（R8.4.1 現在）

防火対象物の区分＼階数別			4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10階以上	合 計
(1)	イ	劇場等	1							1
	ロ	公会堂等								
(2)	イ	キャバレー等								
	ロ	遊技場等								
	ハ	風俗店舗等								
	ニ	カラオケボックス等								
(3)	イ	料理店等								
	ロ	飲食店	2(1)	1(1)						3(2)
(4)		百貨店等	3							3
(5)	イ	旅館等	6(3)	2	6(2)	4	4(2)	1	8(1)	31(8)
	ロ	共同住宅等	63	13	3	1	1	1	5	87
(6)	イ	病院等	3	2	1				1	7
	ロ	社会福祉施設等	7(2)		1					8(2)
	ハ	幼稚園等								
(7)		学校	15(2)	3	1					19(2)
(8)		図書館等								
(9)	イ	特殊浴場								
	ロ	一般浴場								
(10)		停車場等								
(11)		神社・寺院等								
(12)	イ	工場等	3	1	2					6
	ロ	スタジオ								
(13)	イ	駐車場等		1	1					2
	ロ	航空機格納庫								
(14)		倉庫								
(15)		事務所等	8	5	2		1			16
(16)	イ	特定複合用途防火対象物	3	2(1)	4(1)		1		1	11(2)
	ロ	一般複合用途防火対象物		1						1
合計			114(8)	31(2)	21(3)	5	7(2)	2	15(1)	195(15)

（注）　（　）内は、建物はあるが休業、廃業等、現在使用されていない状態のもの。

救急統計

区分 / 事故種別		出動件数（件）	搬送件数（件）	搬送人員 男	搬送人員 女	搬送人員 計（人）	傷病程度 軽症	傷病程度 中等症	傷病程度 重症	傷病程度 死亡	傷病程度 ※2その他	覚知種別 一一九	覚知種別 加入電話	覚知種別 駆付	覚知種別 ※3その他
火災事故		6	4	2	2	4	1	3				4			2
自然災害事故															
水難事故		6	2	2		2	1			1		5			1
交通事故		273	185	98	105	203	157	33	10	3		194	9	2	68
労働災害事故		52	50	37	13	50	29	17	4			51			1
運動競技事故		24	21	15	6	21	12	7	2			24			
一般負傷		885	754	325	430	755	407	262	76	10		859	4	5	17
加害事故		6	3	3		3	2	1				1			5
自損事故		30	16	7	9	16	8	4	1	3		25		1	4
急病		4,268	3,733	1,768	1,965	3,733	1,655	1,744	233	101		4,179	15	26	48
その他	転院搬送	499	497	270	227	497	12	438	47			425	2		72
	医師搬送														
	資器材搬送														
	※1 その他	101	2	2		2	1		1			95	2		4
合計		6,150	5,267	2,529	2,757	5,286	2,285	2,509	374	118		5,862	32	34	222
構成比（%）		—	—	47.8	52.2	100	43.2	47.5	7.1	2.2		95.3	0.5	0.6	3.6

備考

※1 「その他」：正常分娩及び事故原因が断定できないもの等をいう。
※2 「その他」：医師の診断がないもの等をいう。
※3 「その他」：警察専用回線及び病院専用回線等をいう。
※4 「その他」：救急要請により出動したが他車で搬送された場合等をいう。

（注）計の値が四捨五入により各値の計と一致しない場合がある。以下本統計において、ことわりのな

不搬送の内訳									市町別出動件数								
辞退（到着前）	辞退（到着後）	拒否	明らかな死亡	他車（隊）搬送	傷病者なし	誤いたずら報	※4その他	計（件）	鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	三川町	その他
			1				1	2	6	5			1				
									4	4							
			3		1			4	6	3		1		1	1		
									2	2							
	34	4		1	15		34	88	248	165	10	22	17	20	14	23	2
									180	119	7	14	12	17	11	23	
	2							2	45	27	4	6	5	3		7	
									43	26	4	5	5	3		7	
		1					2	3	23	19		2	1		1	1	
									20	17		2	1			1	
1	69	11	5	2	2		41	131	837	588	59	64	44	27	55	48	
									709	483	55	54	40	26	51	46	
	1	1			1			3	6	4	2						
									3	2	1						
			14					14	26	21	2	1	1		1	4	
									15	14	1					1	
7	235	32	111	5	3		142	535	4,032	2,849	288	279	200	146	270	235	1
									3,528	2,463	254	251	187	131	242	205	
				1	1			2	486	381	26	2	65		12	13	
									484	380	25	2	65		12	13	
	3		1		43	40	12	99	92	65	8	10	6	2	1	9	
									1			1				1	
8	344	49	135	9	66	40	232	883	5,807	4,127	399	387	340	199	355	340	3
									4,989	3,510	347	329	310	177	316	297	
0.9	39.0	5.5	15.3	1.0	7.5	4.5	26.3	100	94.4	67.1	6.5	6.3	5.5	3.2	5.8	5.5	0.0
									94.4	66.4	6.6	6.2	5.9	3.3	6.0	5.6	—

上段 ： 出動件数（件）

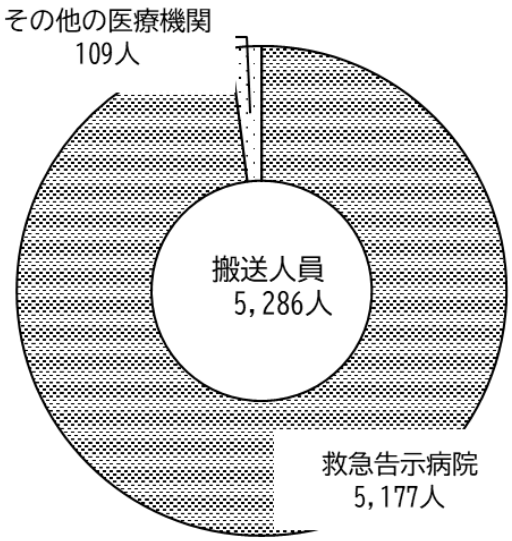
下段 ： 搬送人員（人）

い限り同じ。

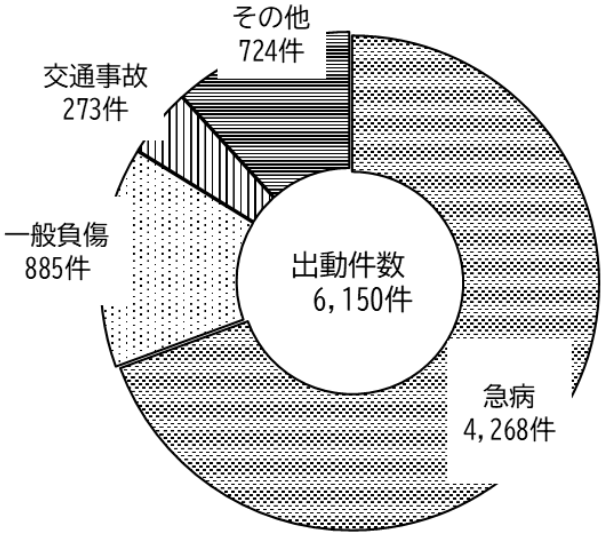
2　月別事故種別出動件数と搬送人員

種別／月別	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	その他	合計
1 月	1			17	5	1	98			446	62	630
				11	5	1	84			360	57	518
2 月				15	4	1	82		1	341	48	492
				13	3	1	68			292	40	417
3 月	1		1	21	4	3	60		5	361	67	523
	1			15	4	2	50		4	315	54	445
4 月			1	12	2	4	71	2	1	306	55	454
				10	2	3	58			273	46	392
5 月				22	2	4	65	1	3	338	54	489
				13	2	4	57	1	2	296	42	417
6 月				24	10	2	66	2	5	313	42	464
				19	10	2	59	1	2	280	36	409
7 月	1		1	28	5	2	71		1	362	51	522
			1	22	5	2	62		1	333	42	468
8 月	1		3	34	4	2	84		2	420	42	592
	1		1	32	4	2	68		1	373	36	518
9 月	2			20	3	5	60		3	340	43	476
	2			14	3	4	55		3	302	35	418
10 月				21	4		71	1	5	341	44	487
				13	4		59	1	2	302	34	415
11 月				24	5		76		2	342	47	496
				16	4		64			295	38	417
12 月				35	4		81		2	358	45	525
				25	4		71		1	312	39	452
合 計	6		6	273	52	24	885	6	30	4,268	600	6,150
	4		2	203	50	21	755	3	16	3,733	499	5,286
備 考	上段　：　出動件数（件）											
	下段　：　搬送人員（人）											

3　医療機関別搬送人員の状況



4　事故種別出動状況



5　年齢区分別傷病程度別搬送人員の状況

年齢区分 / 傷病程度	新生児（生後28日以内）		乳幼児（生後29日以上 満７歳未満）		少　年（満７歳以上 満18歳未満）		成　人（満18歳以上 満65歳未満）		高齢者（満65歳以上）		計　（人）	
		（%）		（%）		（%）		（%）		（%）		（%）
死　亡		－		－		－	11	1.1	107	2.7	118	2.2
重　症	1	16.7	1	0.8	4	2.9	65	6.2	303	7.6	374	7.1
中等症	5	83.3	76	64.4	41	29.5	365	35.0	2,022	50.8	2,509	47.5
軽　症		－	41	34.7	94	67.6	602	57.7	1,548	38.9	2,285	43.2
そ の 他		－		－		－		－		－		－
合　計	6	100	118	100	139	100	1,043	100	3,980	100	5,286	100
構成比（%）		0.0		2.2		2.6		19.7		75.3		100

（注）傷病程度　　死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。
重症とは、傷病程度が３週間の入院加療を必要とするもの以上をいう。
中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のものをいう。
軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

6　曜日別時間帯別搬送人員状況

時間帯別 / 曜日別	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	合計
日曜日	27	28	32	65	117	107	97	104	101	86	76	38	878
	24	21	28	54	97	92	81	85	88	77	63	35	745
月曜日	37	31	42	77	136	138	92	117	104	74	53	34	935
	30	28	40	68	117	126	84	106	90	63	44	30	826
火曜日	29	26	33	64	125	133	100	96	95	90	52	36	879
	23	22	27	57	111	116	86	85	87	74	40	31	759
水曜日	32	20	34	73	103	117	106	96	101	87	59	38	866
	27	16	31	59	93	106	97	84	90	72	48	35	758
木曜日	32	23	27	80	114	112	96	115	96	88	64	40	887
	28	21	19	71	98	96	84	100	84	74	53	32	760
金曜日	27	24	27	67	100	131	102	101	104	87	56	41	867
	20	20	20	57	84	115	84	81	91	72	46	37	727
土曜日	28	29	23	67	113	113	80	85	81	91	84	44	838
	23	27	18	59	102	100	71	73	68	68	71	31	711
合　計	212	181	218	493	808	851	673	714	682	603	444	271	6,150
	175	155	183	425	702	751	587	614	598	500	365	231	5,286
備　考	上段　出動件数（件）												
	下段　搬送人員（人）												

7　現場到着所要時間状況（入電～現場到着まで）

署別＼時間	３分未満	３分以上５分未満	５分以上10分未満	10分以上20分未満	20分以上	合　計（件）	平　均（分）
本署救急隊	4	36	656	463	65	1,224	10.2
中央救急隊	4	88	1,265	270	14	1,641	7.6
北救急隊		27	817	412	12	1,268	8.7
西救急隊	1	8	221	206	14	450	10.1
温海救急隊	4	13	128	158	62	365	12.4
朝日救急隊	4	7	159	130	21	321	10.7
藤島救急隊	1	37	239	178	3	458	9.0
羽黒救急隊	7	13	184	198	21	423	11.0
合　計	25	229	3,669	2,015	212	6,150	9.3
構成比（%）	0.4	3.7	59.7	32.8	3.4	100	—

8　収容所要時間状況（入電～医療機関まで）

署別＼時間	10分未満	10分以上20分未満	20分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上120分未満	120分以上	合　計（人）	平　均（分）
本署救急隊		2	231	721	96	2	1,052	40.3
中央救急隊		39	494	823	33	1	1,390	33.7
北救急隊		7	293	722	47		1,069	36.6
西救急隊			3	362	30		395	44.8
温海救急隊			3	137	190	1	331	63.6
朝日救急隊			11	221	52	1	285	47.4
藤島救急隊		1	18	364	19		402	42.2
羽黒救急隊		1	17	308	30	6	362	45.6
合　計		50	1,070	3,658	497	11	5,286	40.5
構成比（%）	－	0.9	20.2	69.2	9.4	0.2	100	－

9　住所別搬送人員状況

区分＼種別	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	その他	合計（人）
管内住所者	4		2	155	45	16	696	3	15	3,594	477	5,007
管外住所者				48	5	5	56		1	136	22	273
その他							3			3		6
合　計	4		2	203	50	21	755	3	16	3,733	499	5,286

（注）「その他」とは、外国人旅行者（外国人のうち日本に住所を有している者を除く外国人）、または住所が判明しない者等をいう。

１０　救急隊員の行った応急処置の状況

処置項目＼事故種別	急　病	交通事故	一般負傷	そ の 他	合　計
止　血	17	14	83	16	130
固　定	7	44	84	14	149
人　工　呼　吸	17	1	2	2	22
胸　骨　圧　迫					
うち自動					
心　肺　蘇　生　法	128	3	17	5	153
うち自動	26	1	5	1	33
酸　素　吸　入	925	13	38	179	1,155
気　道　確　保	177	3	22	10	212
※　１	2				2
※　２	5		4		9
※　３	71	1	11	3	86
※　４					
保　温	402	18	72	62	554
被　覆	9	27	100	17	153
在　宅　療　法　継　続	21			3	24
※　５	1			2	3
※　６	4			1	5
※　７	16				16
シ　ョ　ッ　ク　パ　ン　ツ					
除　細　動	15				15
静　脈　路　確　保	230	5	19	8	262
ＣＰＡ前	140	3	6	4	153
ＣＰＡ後	90	2	13	4	109
薬　剤　投　与	87	2	12	3	104
血　糖　測　定	520	6	11	10	547
ブ　ド　ウ　糖　投　与	32				32
エ　ピ　ペ　ン					
そ　の　他	203	7	33	27	270
血　圧　測　定	3,546	195	721	575	5,037
聴　診　器	1,181	78	100	137	1,496
血　中　酸　素	3,602	197	738	582	5,119
心　電　図	2,740	72	193	348	3,353
合　計	13,859	685	2,245	1,998	18,787

備　考

気　道　確　保（いずれも内数）
※１　経鼻エアウエイを使用しての気道確保
※２　喉頭鏡・鉗子等による異物除去
※３　救急救命士がラリンゲアルマスク等を使用した気道確保
※４　救急救命士が行った気管挿管処置

在宅療法継続（いずれも内数）
※５　在宅中心静脈栄養管理等による点滴
※６　気管切開･人工肛門等
※７　５・６以外の応急処置

１１　過去５ヶ年の事故種別出動・搬送人員の状況

年別	種別	火災事故	自然災害事故	水難事故	交通事故	労働災害事故	運動競技事故	一般負傷	加害事故	自損事故	急病	その他	合計
令和3年	出動件数(件)	5		7	240	62	12	818	8	37	3,960	510	5,659
	構成比　(%)	0.1	—	0.1	4.2	1.1	0.2	14.5	0.1	0.7	70.0	9.0	100
	搬送人員(人)	1		1	214	60	12	760	5	22	3,584	444	5,103
令和4年	出動件数(件)	10	3	4	227	62	18	864	7	41	4,288	500	6,024
	構成比　(%)	0.2	0.0	0.1	3.8	1.0	0.3	14.3	0.1	0.7	71.2	8.3	100
	搬送人員(人)	8	2	0	184	62	16	771	3	20	3,840	461	5,367
令和5年	出動件数(件)	7		8	230	69	27	888	8	53	4,545	569	6,404
	構成比　(%)	0.1	—	0.1	3.6	1.1	0.4	13.9	0.1	0.8	71.0	8.9	100
	搬送人員(人)	6		3	208	63	27	806	5	35	4,063	508	5,724
令和6年	出動件数(件)	1		3	274	51	20	902	8	41	4,377	609	6,286
	構成比　(%)	0.0	-	0.0	4.4	0.8	0.3	14.3	0.1	0.7	69.6	9.7	100
	搬送人員(人)	0		1	203	49	16	777	4	21	3,830	518	5,419
令和7年	出動件数(件)	6		6	273	52	24	885	6	30	4,268	600	6,150
	構成比　(%)	0.0	—	0.0	4.4	0.8	0.3	14.3	0.1	0.7	69.6	9.7	100
	搬送人員(人)	4		2	203	50	21	755	3	16	3,733	499	5,286

１２　職員が行った応急手当普及啓発活動の状況

月別	種別	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	上級救命講習	応急手当普及員	普及員再講習	応急手当指導員	指導員再講習	入門コース	自治会	学校・保育園等ＰＴＡ	事業所	婦人会	各種団体	その他	合計
１月	回数	3		1							1	1	4		1		11
	人数	32		3							10		55		40		140
２月	回数	1						1				1	9				12
	人数	45						2				14	181				242
３月	回数												8				8
	人数												105				105
４月	回数		1							1			5				7
	人数		47							15			142				204
５月	回数	1									1	6	6		5		19
	人数	19									50	227	50		121		467
６月	回数	2		1							1	17	15		5		41
	人数	26		15							40	390	312		135		918
７月	回数	1		1							5	6	10		2		25
	人数	13		10							62	126	69		75		355
８月	回数	1										2	2				5
	人数	14										20	44				78
９月	回数	1		1							6	1	7				16
	人数	21		5							148	9	101				284
10月	回数	1		1		1					12	1	16		1	1	34
	人数	30		8		12					380	16	329		11	18	804
11月	回数	6					3				2	4	10		1	1	27
	人数	149					35				70	347	140		17	8	766
12月	回数	1								1		1	8		1		12
	人数	39								11		20	70				140
合計	回数	18	1	5		1	3	1		2	28	40	100		16	2	217
	人数	388	47	41		12	35	2		26	760	1,169	1,598		399	26	4,503

救助統計

1　市町別救助件数・救助人員

市町別＼事故種別		火災事故	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
鶴岡市	出動件数	5	32	6	1		1			9	54
	救助人員	6	18	4			1			5	34
鶴岡	出動件数	3	16	3	1		1			1	25
	救助人員	4	4	1			1			1	11
藤島	出動件数		2								2
	救助人員		1								1
羽黒	出動件数	1	7	1						3	12
	救助人員	1	7	1						2	11
櫛引	出動件数	1	3							1	5
	救助人員	1	3								4
朝日	出動件数		3							2	5
	救助人員		1							1	2
温海	出動件数		1	2						2	5
	救助人員		2	2						1	5
三川町	出動件数		2	1		1				1	5
	救助人員		2	1		1					4
その他の地域	出動件数									4	4
	救助人員									4	4
合計	出動件数	5	34	7	1	1	1			14	63
	救助人員	6	20	5		1	1			9	42

2　出動隊別事故種別出動状況及び救助人員

区分＼事故種別		火災事故	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
出動件数		5	34	7	1	1	1			14	63
出動隊	兼任救助隊	2	34	7	1	1	1			14	60
	警防隊	26	53	21	4	2				25	131
	救急隊	7	45	7	1	1	1			10	72
	計	35	132	35	6	4	2			49	263
活動隊	兼任救助隊	1	7	4		1	1			7	21
	警防隊	5	8							4	17
	救急隊	1	14	3		1				5	24
	計	7	29	7		2	1			16	62
救助人員	兼任救助隊	1	7	4		1	1			6	20
	警防隊	5	7								12
	救急隊		6	1						1	8
	消防隊以外									2	2
	計	6	20	5		1	1			9	42

3　発生場所別事故種別救助人員

区分＼事故種別			火災事故	交通事故	水難事故	自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	合計
出動件数			5	34	7	1	1	1			14	63
屋内	住居		5					1				6
	その他の屋内											
屋外	道路	国道										
		その他の道路		18								18
	水面	内水面			3							3
		外水面			2							2
	山岳										6	6
	その他の屋外		1	2			1				3	7
地下												
その他												
合計			6	20	5		1	1			9	42

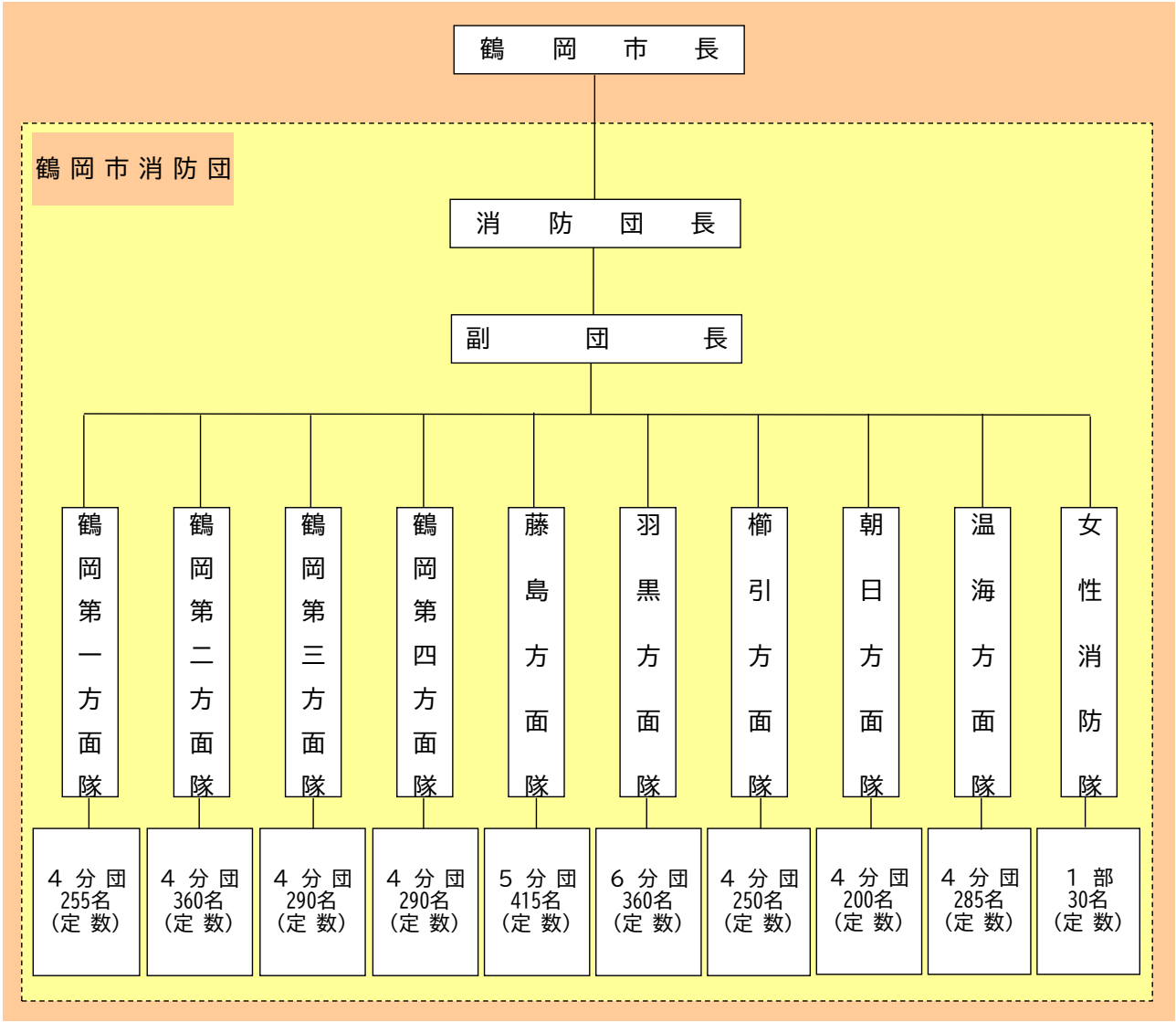
消 防 団 編



消 防 団 活 動 体 験

消防団の構成

（R8.4.1 現在）



消防団長・副団長名

（R8.4.1 現在）

団 長 名	就 任	副 団 長 名	就 任	副 団 長 名	就 任
照井 和	R3.4.1	渡部 昌樹	R3.4.1	高橋 清	R3.4.1
		佐藤 勝	R7.4.1	小野寺 寛	R7.4.1
		疋田 洋昭	R7.4.1		

階級別消防団員数

（R8.4.1 現在）

年数別 / 方面隊等別	定　数	現在数	団　長	副団長	副団長（方面隊長）	分団長	分団長（副方面隊長）	副分団長	部　長	班　長	団　員
鶴岡市	2,750	2,545	1	5	9	9	39	76	110	268	2,028
鶴　岡	1,210	1,128			4	4	16	32	51	115	906
藤　島	415	383			1	1	5	10	16	49	301
羽　黒	360	337			1	1	6	10	9	40	270
櫛　引	250	237			1	1	4	8	12	22	189
朝　日	200	195			1	1	4	8	9	17	155
温　海	285	247			1	1	4	8	12	24	197
女性消防隊	30	12							1	1	10

在職年数別消防団員数

（R8.4.1 現在）

年数別 / 方面隊等別	５年未満	５年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上	合　計
鶴岡市	356	475	562	511	315	200	126	2,545
鶴　岡	164	209	245	215	137	96	68	1,134
藤　島	49	77	86	90	44	27	10	383
羽　黒	47	54	90	72	40	21	13	337
櫛　引	30	54	57	54	27	9	6	237
朝　日	21	36	47	25	28	22	16	195
温　海	41	43	36	54	37	23	13	247
女性消防隊	4	2	1	1	2	2		12

年齢別消防団員数

（R8.4.1 現在）

年齢別 / 方面隊等別	人員合計	平均年齢（才）	18才～24才	25才～29才	30才～34才	35才～39才	40才～44才	45才～49才	50才～54才	55才～59才	60才以上
鶴岡市	2,545	41.3	74	215	319	502	529	431	216	130	111
		40.9	1	1	2	2	5	4	3	0	0
鶴岡	1,134	43.7	25	79	138	200	234	203	113	74	67
		23.0	1								
藤島	383	39.7	13	34	54	78	93	70	32	5	4
羽黒	337	40.3	3	26	47	87	89	47	16	11	11
櫛引	237	39.8	10	24	34	61	42	26	18	9	9
		42.8			1		1	1	1		
朝日	195	42.1	9	13	25	32	35	39	16	14	11
		36.0				1					
温海	247	40.3	14	39	21	44	36	46	21	17	9
女性消防隊	12										
		42.2		1	1	1	4	3	2		

（注） 上段：男性団員、下段：女性団員

消防団機械等現勢

（R8.4.1 現在）

項目 / 方面隊別	水槽付消防ポンプ自動車	普通消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付普通積載車	小型動力ポンプ付軽積載車	小型動力ポンプ付軽搬送車	小型動力ポンプ付台車	合計
鶴岡市		35	25	108	7	96	271
鶴岡		20	6	42	3	44	115
藤島		4	3	12	1	29	49
羽黒		4		13	3	20	40
櫛引		2	6	14			22
朝日		1		18		2	21
温海		4	10	9		1	24

階級別消防団員報酬

（R8.4.1 現在）

階　　級	団　　長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部　　長	班　　長	団　　員
報　酬　額	140,000円	90,000円	70,000円	55,000円	42,000円	39,000円	36,500円

出動手当額

（R8.4.1 現在）

項　　目	水　・　火　災	警　　戒	訓　　練	そ の 他
1 回 当 た り の 出 動 手 当 額	2時間未満　2,000円 2時間以上4時間未満　4,000円 4時間以上　8,000円	2時間未満　2,000円 2時間以上4時間未満　4,000円 4時間以上　8,000円	2,000円	2,000円

常 備 消 防 と の 合 同 訓 練





鶴岡市消防本部庁舎

鶴岡市消防本部【公式】インスタグラム

Instagram

■アカウント

fdtsuruoka_official

■アドレス

https://instagram.com/fdtsuruoka_official/

鶴岡市消防本部ホームページ

http://www.city.tsuruoka.lg.jp/anzen/shobo/index.html